

令和8年第2回那須烏山市議会3月定例会（第4日）

令和8年3月4日（水）

開議 午前10時00分

散会 午後 3時19分

◎出席議員（14名）

1番	高 木 洋 一	2番	福 田 長 弘
3番	荒 井 浩 二	4番	堀 江 清 一
5番	興 野 一 美	7番	矢 板 清 枝
8番	滝 口 貴 史	9番	小 堀 道 和
10番	相 馬 正 典	11番	田 島 信 二
12番	渋 井 由 放	14番	中 山 五 男
15番	高 田 悦 男	16番	平 塚 英 教

◎欠席議員（なし）

◎説明のため出席した者の職氏名

市長	川 俣 純 子
副市長	熊 倉 精 介
教育長	内 藤 雅 伸
会計管理者兼会計課長	高 田 勝
総合政策課長	小原沢 一 幸
公共施設再編担当課長	関 雅 人
まちづくり課長	大 鐘 智 夫
総務課長	平 山 茂 樹
税務課長	川 俣 謙 一
市民課長	黒 尾 明 美
福祉事務所長兼健康福祉課長	岡 誠
こども課長	水 上 和 明
農政課長	小 口 正 一
商工観光課長	星 貴 浩
都市建設課長	菊 池 章 夫
上下水道課長	石 嶋 賢 一

学校教育課長

齋 藤 浩 文

生涯学習課長

塩野目 豊 一

◎事務局職員出席者

事務局長

菊 地 唯 一

書 記

佐 藤 博 樹

書 記

吉 川 和 穂

○議事日程

日程 第 １ 議案第１号～第８号 令和８年度那須烏山市一般会計・特別会計・水道
事業会計・下水道事業会計予算について ※質疑～委員会付託

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

[午前 10 時 00 分開議]

○議長（中山五男） おはようございます。

傍聴席の皆様方にはお忙しい中、議場へ足をお運びいただきまして、誠に御苦労さまです。

ただいま出席している議員は 14 名、全員です。

定足数に達しておりますので、ただいまから会議を開きます。

日程に入る前に報告いたします。

地方自治法第 121 条の規定に基づき、市長以下関係職員の出席を求めています。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりであります。

◎日程第 1 議案第 1 号～第 8 号 令和 8 年度那須烏山市一般会計・特別会計・水道事業会計・下水道事業会計予算について ※質疑～委員会付託

○議長（中山五男） 日程第 1 議案第 1 号から議案第 8 号までの令和 8 年度那須烏山市一般会計予算、令和 8 年度那須烏山市国民健康保険特別会計予算、令和 8 年度那須烏山市熊田診療所特別会計予算、令和 8 年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計予算、令和 8 年度那須烏山市介護保険特別会計予算、令和 8 年度那須烏山市境財産区特別会計予算、令和 8 年度那須烏山市水道事業会計予算、令和 8 年度那須烏山市下水道事業会計予算、以上の令和 8 年度当初予算 8 議案を一括して議題といたします。

本件につきましては、去る 2 月 25 日の本会議におきまして、提案理由の説明が終わりました。

直ちに質疑に入りますが、所管の委員会に関する事項は委員会審査において審議されるようお願いいたします。

また、議会運営に関する申合せにより、質疑の持ち時間を答弁を含めまして、30 分以内としておりますことから、30 分を超えた場合には終了を求めますので、御了解願います。

質疑、答弁は、簡潔明瞭にされるよう、この際申し上げます。

これより質疑に入ります。

1 番高木洋一議員。

○1 番（高木洋一） 皆様、おはようございます。

それでは、通告に基づきまして、順次質問させていただきます。

全て概要版になっております。

まず、4 ページ、子育て世帯訪問支援事業費、家事・育児等に対して不安等を抱える保護者、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を訪問し、家事・育児等を支援。50 万 9,000 円に

ついて詳細を伺います。

同じく4ページ、乳児等通園支援事業費、生後6か月から満3歳未満の保育園等に通っていない子供を対象とした、こども誰でも通園制度の実施。124万8,000円について詳細を伺います。

同じく4ページ、学校給食センター運営費、給食費の保護者負担分の無償化に伴う支出増、4,664万3,000円について詳細をお伺いします。

6ページ、中学校管理費、登校しても教室に入ることが難しい生徒を支援する校内教育支援センターを各中学校に設置。361万2,000円について詳細をお伺いします。

同じく6ページ。その他。学校体育館の空調整備手法や年次計画を検討。ゼロ予算について詳細をお伺いします。

8ページ、プレミアム付商品券事業費、那須烏山商工会が実施する市内で利用できるプレミアム付商品券発行事業への補助金、5,100万円について詳細を伺います。

同じく8ページ、農業振興費、飼料や肥料等の価格高騰の影響を受ける農林水産業事業者への助成、3,000万円について詳細を伺います。

同じく8ページ、農業総務費、道の駅の整備事業に向けた（仮称）稼ぐ農業創出実行委員会の設置、40万3,000円について詳細をお伺いします。

以上8項目です。

○議長（中山五男） 水上こども課長。

○こども課長（水上和明） それでは私からは概要版4ページ、子育て世帯訪問支援事業費及び乳児等通園支援事業費についてお答えいたします。

まず、子育て世帯訪問支援事業費でございますが、この事業は家事、育児等に不安を抱える保護者、妊産婦、ヤングケアラーなどがいる家庭の居宅を訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事、育児等の支援を実施することにより、家庭の養育環境を整え、虐待のリスクなどの高まりを未然に防ぐことを目的とした新規の事業になります。

支援業務の内容は、家事支援として食事の準備や掃除洗濯、買物代行など。育児支援として育児のサポート、保育所等の送迎など。また、相談業務として子育てに関する不安や悩みの相談、助言等になります。

50万9,000円の内容でございますが、本事業は専門業者へ業務を委託して実施いたしますので、その委託料となります。

利用者が毎週1回、1年間利用したと仮定しまして、約2世帯分の業務委託料を予算化いたしました。足りない場合は、補正予算等で対応していきたいと考えております。

次に、乳児等通園支援事業費についてお答えいたします。

乳児等通園支援事業費は生後6か月から満3歳未満で、保育所等に通っていない子供を育てている家庭が、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず、時間単位で柔軟に利用できる、いわゆるこども誰でも通園制度でございまして、今年の4月から開始する新規事業になります。

事業費の124万8,000円でございますが、これは市民の方が本事業を利用した際に、事業者を支払うための給付費となります。

今のところ、この事業は市内の私立の保育園などでは実施予定はなく、公立のなすからこども園のみで実施予定としているため、当面の間、給付費は発生いたしません。今後私立園が事業を開始する場合や、市民の方が市外の事業所を利用した場合は給付費が発生するため、予算計上したものでございます。

両事業ともに令和8年度から実施する新制度のため未知な部分が多く、今後の動向を見極めながら、適宜予算措置をまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（中山五男） 齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文） 私は、学校給食センターの運営費、中学校管理費、学校体育館の空調の関係、3項目についてお答えいたします。

まず、概要版4ページの給食費の保護者負担分の無償化に伴う支出増、4,664万3,000円について御説明いたします。

こちらにつきましては、学校給食運営費、前年対比での増分ということで御理解願います。

その中で主なものが、拡充としまして無償化という形になっております。無償化に伴う金額につきましては、賄い材料費としまして、1億600万6,000円を計上しております。

その内訳であります。無償化に伴う小中学生の食材費、こちらが9,270万4,000円。それから、教職員とセンターの給食食材費としまして1,312万7,000円。それから、保存の食料材料費、こちらが60万4,000円。それから障害者の就労支援施設の推進事業の食材としまして、5万3,000円を計上しております。

一方、無償化に伴い賄い材料費が増額となりますので、令和7年度に実施しておりました保護者負担軽減の交付金、それから、食材高騰対策の交付金が減額となりますので、そちらの金額が6,010万8,000円の減額となります。そちらを踏まえまして、拡充分が4,664万3,000円となっております。

続きまして、概要版6ページの中学校管理費、校内教育支援センターについてお答えいたします。こちらにつきましては、令和7年度に各中学校に設置しているところでありますが、予算額の361万2,000円につきましては、会計年度任用職員である支援員を1名増とする

人件費の経費であります。

令和7年度は会計支援員1名を採用して、烏山中学校を拠点に週3日、それから南那須中学校2日の勤務としておりましたが、令和8年度はそれぞれに1名ずつ配置するということで、ちなみに2名分の人件費になりますと756万円となっております。

続きまして、予算はありませんが学校屋内運動場の空調設置についてお答えいたします。令和8年度につきましては、令和9年度以降の設置に向けて整備計画を検討しております。整備手法につきましては、空調設備のみの設置、それから断熱性を確保した整備、あと、大規模改修等を踏まえました整備など様々な整備手法がありますので、どちらがよいかというものを検討していきます。

また、財源につきましても、リース事業、それから単独事業、交付金や地方債を活用した事業というものが考えられます。

さらには、現在進めております学校適正規模等についても考慮していく必要があるのかというふうに考えております。そのため、令和8年度につきましては整備方針、整備手法、整備費及び年次計画を検討してまいりたいと考えておりますので。

以上です。

○議長（中山五男） 星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） それでは私からは概要版8ページのプレミアム付商品券事業費について説明させていただきたいと思っております。

こちらのプレミアム付商品券発行事業ですが、物価高騰の影響を受けた市民の生活支援及び地域経済の活性化を目的としまして、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、こちらを財源に商工会に補助をしてプレミアム付商品券を発行していきたいと考えてございます。

詳細につきましては、今後商工会と協議をして決めていく形になりますが、基本的には令和7年度の実施内容をベースにしながら考えていきたいと思っております。紙のものとデジタルものと両方を、また発行していきたいと考えてございます。時期につきましては、秋以降になる見込みでございます。

以上でございます。

○議長（中山五男） 小口農政課長。

○農政課長（小口正一） それでは、私から概要版8ページの農業振興費、農業総務費の2点についてお答えいたします。

まず、農業振興費でございます。こちらに関しましては、先ほども商工観光課長からお話があったように、重点支援地方交付金を財源といたしまして、その中の推奨メニューがございまず農林水産業におけます物価高騰対策支援ということで、基本的に今、考えているのは、農業

の税申告をしているものに対しまして、肥料、飼料、農薬、あとは動力光熱費等々の一部を助成するという事を考えてございます。

詳細につきましては、ただいま制度設計を検討中ということになってございます。総額に関しまして、3,000万円以内ということでの対応を考えてございます。

続きまして、農業総務費でございます。こちらは市長公約でございます稼ぐ農業に向けての第一歩といたしまして、仮称でございますけれども、稼ぐ農業創出実行委員会に係る委員、想定では10名程度を考えてございます。その委員会の出席時の報償、年間で6回ほど考えてございます。

あと先進地視察、近場ですと、道の駅まじことか、そういったところの視察を計画してございます。それに伴います市有バスの運転業務の費用、シルバーの費用で計40万3,000円の予算計上となっております。

以上でございます。

○議長（中山五男） 1番高木洋一議員。

○1番（高木洋一） では、それぞれ確認させていただきます。

まず、子育て世帯訪問支援事業費につきましては、委託料ということで、2世帯分ということで承知しました。

次の乳児等通園支援事業費につきましては、これは給付費ということで、なすからこども園が主になるということなのですけれども、今後の想定人数とか利用率の見込みがございましたら伺いいたします。

学校給食センター運営費につきましては、過日の同僚議員からの一般質問にもございましたけれども、無償化というところがメインになるかと思っておりますが、学校の教職員の給食費については、どのような感じになるのか。分かりましたら教えてください。

次の学校管理費につきましては、1名の人件費ということで分かりました。もし現在の不登校傾向の生徒数が何名いるか分かりましたら、こちらも併せて教えてください。

次のその他の事業なのですけれども、空調整備の方針を決めるということで、今年度はゼロ予算なのですけれども、そうしますと今年も夏は、またスポットクーラー等に対応するという事でよろしいですか。その確認です。

次のプレミアム付商品券事業費につきましては、今後、詳細については商工会と決めていただく、令和7年度ベースで決めるということなのですけれども、こちらは結構な方が使っておりますので、詳細が決まりましたら早急に教えていただきたいと思います。

次の農業振興費につきましては、これはこれから詳細を決めるということなのですけれども、振興費の対象となる農家数や基準など、もし決まっているものがありましたら教えてください。

最後の農業総務費ですけれども、創出事業の設置ということで10名、年6回の開催ということで承知しました。こちらは会議体で終わらせない設計でお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（中山五男） 水上こども課長。

○こども課長（水上和明） それでは、お答えいたします。

利用人数の想定ということでお答えいたします。利用人数は、大体月10人前後の利用を予定してございます。

以上です。

○議長（中山五男） 齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文） 学校給食センター運営費の中での教職員分、こちらは先ほど申しましたとおり、1,312万7,000円を計上しておりまして、人数的にはセンター職員も少し含むのですが198人を見込んでおります。

こちらにつきましては無償化というわけにはいきませんので、給食費は徴収させていただくと。金額につきましては、前回の一般質問でもお答えしましたとおり、小学校が5,700円、中学校が6,900円を一応見込んでおります。

続きまして、不登校数です。不登校数につきましては、基本的に30日以上欠席を不登校という形に定義されております。令和8年1月現在であります、まだ全部集計はできないのですが、病気等も含まれてしまっているのですが、30日以上欠席者、小学生が38名。中学生が49名となっております。

ちなみに令和6年度につきましては、すみません、率しかないのですが、令和7年度の率が4.4%、中学校は9.9%。令和6年度が3.1%、中学生が7.2%なので、若干ではありますが、増えていますかね。ただ、先ほど言いましたとおり、病気等が含まれていますので、こちらについては今、集計しているところであります。

それから、スポットクーラー。令和8年度につきましては、体育館にスポットクーラー、大型扇風機での対応になります。ただ、学校もいろいろと工夫をしております、体育館ばかりでなく、多目的室を使ったり、空調があるところでやったりというように今のところ工夫をしている状況であります。

以上です。

○議長（中山五男） 小口農政課長。

○農政課長（小口正一） それでは農家数、あとは基準ということでございますけれども、すみません、農家数につきましては、今のところ2020年の農林業センサスの数値になって申し訳ございません。そのときの数値でございますけれども、那須烏山市ですと1,027戸

ということになってございます。何分にも農家減少は進んでございますので、今は1,000戸を切っているかというふうに考えてございます。

基準でございます。基本的に農業の税申告をしている、青色、白色を問わず、そちらのほうで申告をなさっている方に対して、その中の経費、肥料費なり飼料費なり、農薬費なり、光熱水費というか動力光熱費などを赤字黒字を問わず、ある程度の定率の補助を考えてございます。

飼料費に関しましては、飼養頭数により補助をする方向で考えてございます。

以上でございます。

○1番（高木洋一） 承知しました。

○議長（中山五男） よろしいですか。

○1番（高木洋一） はい。

○議長（中山五男） 分かりました。

では、2番福田長弘議員。

○2番（福田長弘） それでは、順番でございます。通告書に基づいて質問させていただきたいと思います。

今回は予算書と概要版からでございます。予算書の内容につきましては、前年度と金額の比較でさせて、大きいものについて質問させていただきたいのと、概要版については中身をお伺いしたいということでございます。

まず、予算書41ページ、財政調整基金費でございます。ふるさと応援基金積立金の内容について伺います。

続きまして、総合戦略推進事業費。昨年より予算が倍になっており、次期総合計画策定に向けた市民意向調査等の具体的な内容をお伺いします。

予算書49ページ、固定資産税課税事業費、予算が前年度の4割程度となっているが、内容についてお伺いいたします。

予算書57ページ、児童虐待防止対策費、予算増となっておりますが、どのような取組を行うのかをお伺いいたします。

予算書91ページ、地域学校協働活動推進費、予算増となる活動についてお伺いいたします。

予算書93ページ、文化財調査費、予算増となった要因を伺います。

同じく予算書93ページ、長者ヶ平官衙遺跡保存管理費、予算削減となった理由をお伺いいたします。

続きまして、概要版9ページ、シティープロモーション事業費、キャラクターグッズ製作とあるが、取組の内容についてお伺いいたします。

概要版13ページ、会計管理費。施設使用料等公共料金のキャッシュレス納付の導入とあり

ますけれども、どのようなメリットが生まれるのかをお伺いいたします。

○議長（中山五男） 大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫） まちづくり課関係で2点御質問いただきましたので、お答えいたします。

まず、1点目、予算書41ページ、財政調整基金費です。こちらは内容がまちづくり課関係になりますので、私から答弁させていただきます。

こちらは令和8年1月から令和8年12月分までのふるさと応援寄附金を1億円と試算しまして、予算計上をしております。令和9年3月補正に、ふるさと応援寄附金の令和8年1月から12月までの実績額を確定させて、基金に積み立てるものでございます。

続きまして、概要版9ページ、シティープロモーション事業費です。

こちらにつきましては、ここなす姫、からすまる、やまどんの3体のイメージキャラクターのグッズを作りまして、市のイメージアップ、認知度向上に貢献するとともに、市民、団体、企業にイメージキャラクターを身近なものとして認識していただいて、親しみを持って様々な場面で御活用していただくように、グッズを作っていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（中山五男） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 予算書43ページ、総合戦略推進事業費についてお答えします。

次期総合計画策定に向けた市民意向調査の具体的な内容については、本市民意向調査につきましては、現在運用しています那須烏山市第3次総合計画が令和9年度をもって期間が満了となることから、那須烏山市第4次総合計画の策定に向けて実施するものでございます。

調査内容につきましては現在調整中ではございますが、設問はおおむね50項目程度、対象者は2,000人を見込んでいるところです。

そのため、市民意向調査の実施にかかる消耗品や、調査の郵送料、業務委託料等を計上しているものでございます。

以上です。

○議長（中山五男） 川俣税務課長。

○税務課長（川俣謙一） 私からは、予算書49ページ、固定資産税課税事業費の予算が前年度の4割程度になっている理由についてお答えいたします。

福田議員がおっしゃるとおり、令和8年度固定資産税課税事業費1,275万8,000円。これにつきましては、令和7年度3,201万5,000円の4割程度でございます。

理由としましては、固定資産税の評価替えは土地や建物の評価額を3年ごとに見直す制度と

っており、土地や建物の適正な時価を評価額として課税しております。直近では、令和6年度が基準年度となり評価替えが実施されましたが、現在は、次期評価替えとなります令和9年度に向けて、資産価格の変動に対応させるための作業を実施しております。

令和7年度はその作業の一つとして、不動産鑑定業務を実施するための委託料予算が1,600万円程度計上されており、この業務は令和7年度内に完結いたします。

したがって、令和8年度はこの委託料の計上がなくなった影響が大きいため、令和7年度の4割程度が令和8年度の予算となっております。

以上です。

○議長（中山五男） 水上こども課長。

○こども課長（水上和明） 私からは予算書57ページ、児童虐待防止対策費、予算増額の理由についてお答えいたします。

児童虐待の現状は依然として深刻な状況が続いており、全国の児童相談所による児童虐待相談対応件数は、2年連続で22万件を超え、非常に高い水準となっております。

本市でも相談件数は年々増加傾向にあり、相談内容も最近では目に見える身体的虐待よりも、言葉や態度による心理的虐待が増加し、複雑化、多様化しているため、担当する職員の負担が非常に増加しております。

そのため、令和8年度から家庭相談員を1名増員いたしまして、業務に当たることとしました。増額分の主なものは、家庭相談員の報酬等になります。

今後も早期発見、早期対応を心がけ、関係機関としっかり連携しながら、子供や家庭に対するきめ細やかな支援を実施してまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（中山五男） 塩野目生涯学習課長。

○生涯学習課長（塩野目豊一） 生涯学習課からは、地域学校協働活動推進費と文化財調査費、長者ヶ平官衙遺跡保存管理費の3つをお答えさせていただきたいと思います。

まず、地域学校協働活動推進費につきましては、地域の住民の参画を得まして、小学校で子供たちが安全で安心な放課後の活動を行う事業として、放課後子ども教室を実施していますが、令和7年度は、烏山小学校、荒川小学校の2校で実施していましたが、令和8年度から江川小学校でも行うことになりましたので、主に支援員とかサポーターの謝金、あとは消耗品の増という形になります。

次に文化財調査費の関係、こちらの予算増となった原因につきましては、長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡の道の部分の国史跡の追加指定に伴う確認調査及び烏山城跡の、今やっております三の丸の確認調査の作業員人件費や表土掘削などの業務委託料の増になります。

次に、長者ヶ平官衙遺跡保存管理費の予算削減となった理由は、令和7年度に暫定多目的広場の路盤の敷均しとか、あとは防草シートの張り替えによる補修工事があったため、来年度はこの工事がありませんのでその分の削減となります。

以上になります。

○議長（中山五男） 高田会計管理者兼会計課長。

○会計課長（高田 勝） 概要書13ページの会計管理費の施設使用料等公共料金のキャッシュレス納付の導入についてということで、どのようなメリットが生まれるのかなのですけれども、今回、施設使用料等ということで、e L-Q Rというコードをそこに付与しまして、A3の3連様式のものに対して付与いたします。そのほかもありまして、保育料、後期高齢医療費、介護保険料ということに付与していきます。

利用者側のメリットなのですが、利用性の向上ということで、いつでもどこでも支払いが可能であると。窓口の待ち時間等が少なくなると。現金を持ち歩く必要がない。多様な支払い方法から選択できるということで、施設側のメリットといたしましては、現金管理等会計業務の負担が軽減になると。集計、計数作業の削減、銀行への預け入れ作業も不要になると。そのほか、会計リスクの軽減となります。さらには、職員が現金を扱うことに対する心理的負担が減るということでございます。

○議長（中山五男） 2番福田長弘議員。

○2番（福田長弘） 説明ありがとうございました。

財政調整基金、ふるさと応援積立金の中身については、御理解させていただきました。ぜひ、頑張って積み上げていただければと思います。

総合戦略事業費につきましても、理解しました。しっかりとした計画を立てるために必要なことだと思いますので、漏れのないようにお願いいたします。

固定資産税のほうも分かりました。委託料。これも、今課長が言われたように何年かごとにまた、こういう形になるということで理解させていただきました。

児童対策も理解をしましたが、1点、1名増えるということで、総勢何名ぐらいで対応するかだけ教えていただければと思います。

学校、ほかの中についてもほぼ理解しました。

シティープロモーション費ですが、市のキャラクターのグッズを作ると。具体的なグッズとかの種類はまだ決まっていないのか、その辺を教えていただければと思います。

会計管理費でございます。こちら相互のメリットは理解できました。今年度はどれぐらいの比率を目指しているとかという目標はあるのか、教えていただければと思います。

○議長（中山五男） 水上こども課長。

○こども課長（水上和明） それでは、お答えいたします。

対応人数ということで、こども課内に相談グループがございまして、今6人体制で対応しております。その中で家庭相談員が、今のところ今年度は1名だったのですが、今度、家庭相談員が1名増えて、2名で対応することになります。

以上です。

○議長（中山五男） 大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫） イメージキャラクターのグッズについてですけれども、グッズとして考えられるのは、キーホルダーとかアクリルスタンド、コースターとか、それと縫いぐるみが考えられます。

最近、女子高生がかばんを持っている中で、15センチメートルぐらいの縫いぐるみをたくさんつけている様子を見ますと、縫いぐるみもいいのかななどとは思っておりますが、予算もありますので、いろいろと検討させていただきたいと思います。

以上です。

○議長（中山五男） 高田会計管理者兼会計課長。

○会計課長（高田 勝） 利用率なのですけれども、特に目標は設定しておりませんが、利便性が上がったというところで御理解いただきたいと思います。

○議長（中山五男） 福田議員、よろしいですか。

○2番（福田長弘） はい。以上です。

○議長（中山五男） 3番荒井浩二議員。

○3番（荒井浩二） では私からも通告書に従いまして、質問させていただきます。

まず、当初予算についてお伺いいたします。令和8年度当初予算は前年度比5.5%の増額で、那須烏山市政過去最大規模となっております。物価高騰に始まり、人件費、社会保障費などの義務的経費が増加した一方で、市が主体的に政策判断を下した投資的、前向きな経費の内訳について伺います。

また、本市はこれまで計画的に市債残高を減少させ、財政の健全化を進めてきましたが、インフラの老朽化対策や公共施設の再編並びに新庁舎整備、学校給食費の無償化を行っていく中で、近い将来、大規模な財政出動が避けられない時期に入っていくものと考えられます。

借金を減らす局面から投資へ転換する時期をどのように計画しているのか教えてください。

そして、現在、他自治体では、子育て世帯の困り込みが進んでおります。自主財源が少ないため、現状は本市は致し方ない部分もあると思うのですけれども、本市は他自治体と比較すると、行政サービスが少し弱いのかと感じております。

当予算案において、本市オリジナルの事業はどのようなものがあるのか、また今後、借金減

少とサービスの拡充の両立は可能なのか、併せて伺います。

次に、概要書のプレミアム付商品券事業費なのですが、こちらは高木議員からも質問がありました。概要は理解したのですが、事業実施、毎年やり方がいろいろ変わってきております。今年度の事業実施とか、おとしもやってきて、利用率とか、予算の消化率はどのように変わってきているのか、その部分だけ教えてください。

次に、概要書9ページ、八溝そばブランド力向上支援事業費、事業概要とそばまつり等の計画について伺います。

次に、概要書10ページ、空家対策事業費、こちらの事業概要と本年度に行った空家等実態調査を踏まえて、市内の空き家や問題の現状について伺います。

次に、同じく11ページ、清水川せせらぎ公園整備費、令和8年度の計画について伺います。こちらは遅延しているものと考えられるのですが、そうであればその原因と、また計画に変更があれば、そちらについても説明を求めます。

次に、概要書12ページ、業務系・情報系システム管理運営費、こちらの事業内容と生成AIの導入によって、どのような業務や改善を行っていくのか教えてください。

次に、概要書13ページ、会計管理費。こちらはおおむね説明があったのですが、私からは、キャッシュレスシステムの利用手数料について、どのようになっているのか教えてください。

次に、概要書22ページ、令和8年度組織改編について。本年の本市行政では組織改編を行うということなのですが、組織改編による業務効率の改善や、事務分掌の狙いや目的、また、経費の増減等について伺います。

次に、予算書から31ページ、財政調整基金繰入金5億3,400万円の用途と、理由について伺います。

次に、予算書47ページと113ページ、こちらの防犯対策費、防犯施設維持管理費及び自治会交付金に関してです。防犯灯の維持管理に関しては、おとしから私の一般質問及び当初予算総括質疑で電気料金の自治体負担を要望させていただいております。

自治会員と自治会員でない方の費用負担を軽減させるためにもいろいろ提言させていただいて、その中で自治会からも要望書が提出され、市で受理されているようなのですが、その後の自治会からの意見や検討の進捗について伺います。

また、その過程で自治会交付金の見直しを行っていくと、執行部のほうから説明がありましたが、そちらの予定や計画についても伺います。

自治会交付金が毎年減額しているようなのですが、これらは人口減少や脱会が主な要因なのか、そちらを教えてください。

また、市では自治会の会計状況を把握しているのか、各自治会の会計状況です。していないのであれば、早急に調査し、例えば自治会員数ではなく、地区の住民の数や実態に合わせた自治会交付金の支給要件の再検討等を進めるべきだと考えるが、いかがでしょうか。

ついでなのですが、要望として、今後の行政正副区長会議や市政懇談会、移動市長室等に合わせまして、前回タウンミーティング等も行われていたと思うのですが、出席者等に本市の補助、助成金についてまとめた分かりやすい資料の配布を行い、本市行政サービスの周知に改めて努めていただきたいと要望いたします。

次に、予算書、水道事業会計予算、下水道事業会計予算に関しまして、昨年来より上下水道敷設管の老朽化による破損や漏水等が各地で問題となっております。八潮市の事件等も記憶にまだ残っていると思います。併せまして、本市では衛星写真による調査を行ってまいりましたが、次年度以降の事業計画等に、本予算に関して影響はあるのか伺います。

○議長（中山五男） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 私から、まず概要書の当初予算について、①の部分です。市が主体的に政策判断を下した投資的前向きな経費の内訳について御説明いたします。

主な経費としましては、市長が3期目の選挙公約に掲げております新庁舎の整備に係る事業費6,002万円。

また、新たな産業団地の調査に係る事業費330万円。

道の駅整備に向けた（仮称）稼ぐ農業創出実行委員会の設置に係る事業費40万3,000円や、また物価高騰の交付金を活用しました水道基本料金の減免、6,988万円。農林水産業事業者への助成3,000万円。省エネ家電購入費用の助成1,000万円。学校給食費の無償化9,270万4,000円。那須烏山市商工会が実施するプレミアム付商品券発行事業への補助金5,100万円等の経費が該当するものと考えられます。

次に、②番、借金を減らす局面から、投資へ転換する事項時期をどのように計画しているかについて御説明いたします。

こちらは非常に表現が難しい内容ではございますが、どのくらいまで借金が減ったら投資へ転換するという計画は立てておりません。

借金はいわゆる市債でございます。これらを減らすには、市債の活用を制限することが主な方法と考えますが、市債の種類によっては借りた額の一部が普通交付税の基準財政需要額に算入されることから、このような有利な市債については、財政健全化判断比率等に注意しながら、積極的に活用していく方針でございます。

一方投資への転換につきましては、施設整備など投資的経費を指しているものと考えております。こちらは、公共施設等総合管理計画や生涯学習個別施設計画、烏山駅周辺地区整備基本

計画、まちづくりグランドデザインなどの内容を踏まえまして、再編整備を検討していく予定としております。

現時点につきまして、時期については明確な回答はできませんが、このような整備に備えまして、余剰金を基金に積み増しするなど対応しているところでございます。

次に③番、本市のオリジナルの事業及び借金減少とサービスの拡充の両立は可能かについて御説明します。

初めに、本市オリジナルの事業でございますが、子育てや移住定住支援策として、ようこそ！なすから赤ちゃん応援事業、学生応援事業ふるさと便、民間賃貸住宅家賃補助事業、住宅リフォーム助成事業を実施しております。

また、高齢者や障害者への支援としまして、高齢者及び障害者へのタクシー券の交付事業、障害者への紙おむつの給付事業等を実施しております。

そのほか市民秋まつり、ＪＲ烏山線の利用促進、烏山高校存続に向けた市営バス定期券の購入補助、小学生２キロメートル、中学生４キロメートルを基準としたスクールバスの運行、ユネスコ無形文化遺産山あげ祭や、烏山城跡地等の文化財の有効活用や保存継承、公立病院への支援等を実施しているところでございます。

次に、借金減少とサービス拡充の両立についてでございますが、借金減少は市債の活用を抑制することが主な方法と考えております。有利な市債は積極的に活用していく考えでございます。

サービスの拡充につきましては、限られた財源の中で、効果の薄い事業を廃止し、必要性の高い事業を拡充するなどを検討していくことと考えております。借金の減少とサービスの拡充は別々の問題と考えておりますが、どちらも適切に対応していく考えでありますので、御理解をお願いいたします。

次に、概要書２２ページの組織改編の経費の増減等の部分について、私からお答えします。経費の増減につきましては、従来から都市建設課に計上しておりました都市計画総務費、街路事業費、公園費、集団移転事業費、住宅管理等の一部を都市整備課に計上し、新規に新庁舎整備費を計上しておるところです。

増減等につきましては、新庁舎整備費等が増の部分に該当すると思います。

次に、予算書３１ページの財政調整基金繰入金について御説明いたします。

財政調整基金の用途とその理由につきましては、設管条例におきまして災害の復旧、地方債の繰上償還、その他財源不足を生じたときの財源の積立てをしているところでございます。

繰入金の５億３，４００万円につきましては、特定の事業に活用するものではなく、どのような経費にも使用できる一般財源として活用するものでございますので、御理解ください。

概要書12ページの業務系・情報系システム管理運営事業についてお答えします。

業務系・情報系システムの管理運営費につきましては、各庁舎及び出先機関で使用するパソコン、プリンター、コピー機といった各種機器の賃貸借、保守といった維持管理経費を予算計上しております。

その中で、新規としまして、生成AIのシステムを導入する経費として70万4,000円を計上しているところです。内訳につきましては、初期導入経費として26万5,000円、ランニングコストとして42万9,000円、合計70万4,000円を計上しているところでございます。

この生成AIの導入によって、どのようなことをしていくかというところなのですが、生成AIの利活用におきましては、まず、文書の校正や要約に活用を予定しております。

具体的には、業務文書や報告書の校正作業、要約作業に生成AIを導入することで、職員の負担を軽減するとともに、人為的なミスを減らし、正確で読みやすい文章を迅速に作成することが可能となるものと考えております。

次に、アイデア出しや企画立案の支援にも活用する予定です。

新たな施策の検討に際しまして、多角的な視点を基に、生成AIによる提案を取り入れることで、企画の初期段階から多様な発想を生かしまして、創造性と実効性を兼ね備えた施策形成を促進したいと考えております。

さらに、過去に蓄積した膨大な業務資料や文章を生成AIに活用することで、日常業務の効率化を図りたいと考えております。

具体例を申し上げますと、議会答弁書作成においては過去の議会会議録や答弁書を参照し、文案作成を支援することで、精度の向上と迅速な対応を実現し、質を向上させていきたいと考えております。

私からは以上となります。

○議長（中山五男） 星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） 私からは、プレミアム付商品券の令和7年度の実施状況等についてお話しさせていただきます。予算の消化率等です。

プレミアム付商品券につきましては、紙の部分につきましてはかなり市民の方に浸透していて、販売するともう売れ残りが無いというか、全て売り切れてしまうところでしたが、令和6年度から導入しましたデジタル分につきましては、やはり初年度、用意した分が売れ残った部分がございます。

令和7年度の実施につきましては、その部分の見直し改善を図りまして、一口の金額を下げたりですとか、あるいはプレミアム付商品券の利用期間を伸ばしたりとかさせていただいた。

また、デジタル商品券の導入が2回目ということもありまして、令和7年度に関しましては、一番最初に用意した分は売れ残ったのですが、追加販売をしたところ、残りは全て売り切ったところで、予算の執行率としましては、ほぼ使い切る形になると思います。

そういったことも含めまして、令和8年度の事業につきましても、令和7年度のものベースになっていろいろ考えさせていただければと思っております。

以上です。

○議長（中山五男） 小口農政課長。

○農政課長（小口正一） それでは、私から、八溝そばブランド力向上支援事業費についてお答えいたします。

まず、概要でございます。市民秋まつりに際しまして、八溝そばのPRも兼ね、市内の店舗の出展の御協力を得まして、それに対する経費の計上を考えてございます。

主なものとすれば給排水設備の工事に20万円。あと、烏山線利用向上に際し、そば無料券の配布を想定とすれば、3店舗の出店に対しまして1店舗当たり150食で500円、計22万5,000円を考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（中山五男） 菊池都市建設課長。

○都市建設課長（菊池章夫） それでは、私から予算概要書10ページ、空家対策事業費、予算概要書11ページ、清水川せせらぎ公園整備費についてお答えいたします。

まず、空家対策事業費につきましては、空家対策の推進に関する特別措置法に基づき、空家対策を実施するものであり、特定空家等除却事業費補助金により、管理不全や老朽化した空き家等の所有者等に対する除却の推進を図る事業でございます。

空家対策協議会におきまして、特定空家と認定されたものの除却費用に対し、補助率2分の1、限度額50万円を補助するもので、令和6年度に設立されました。

令和7年度は、5件分250万円の予算計上ではございましたが、令和8年度におきまして、今年度実施いたしました空家実態調査、空き家に対する問合せが増えるという見込みで、倍の10件分の500万円を計上したところでございます。

そのほか、空家対策事業に係る経費を含めまして、合計511万1,000円となっております。

次に、今年度実施しました空家等実態調査に関しましてですが、現時点では、最終的な結果はまとまっておりませんが、平塚議員の一般質問の際にお答えしましたとおり、第1弾として行った公道からの目視による現地調査では、居住の実態が確認ができなかった空き家の可能性が高い建物が約900軒存在することが確認できました。

また、現在、これらの建物などのうち、所有者の特定できました約800軒につきまして、今後の活用の意向を尋ねるアンケートを調査を実施してございます。

実態調査の結果を基に、次期空家等対策計画を策定いたしますが、最終的な調査の結果は、その中で、現状と課題という形でお示しすることとなると考えております。

次に、清水川せせらぎ公園整備についてお答えいたします。

清水川せせらぎ公園改修工事につきましては、令和7年度から令和8年度にかけて継続費で実施しており、令和8年度に必要な経費として7,950万円を計上してございます。

令和8年度の主な工事内容といたしましては、遊具、トイレ、最終的な芝張り、そちらの工事が主な工事内容となっております。

現在施工中の整地工事におきましては、公園工事特有の修景ですか、見た目、そういったところでございまして、その部分が大変重要になってございます。特に公園外周の地先境界ブロックの設置、その設置に際して、カーブ設定等にかかなり苦勞して時間がかかっているという状況で、そこら辺が時間を要している部分となっております。ですが、全体計画としましては、計画どおり進捗している状況でございます。

また、計画変更のものにつきましては、安全性や公園利用の動線をより確保するため、子育て世代とのワークショップや、近隣住民からの要望を踏まえまして、遊具の設置箇所について一部調整を行う必要が生じました。しかし、遊具の種類や規模、設備内容等については、変更してございません。

以上となります。

○議長（中山五男） 執行部の皆さんに申し上げます。

時間がなくなってしまうので、もう少々、簡潔にできるところはそうようにお願いしたいと思います。

続きまして、高田会計管理者兼会計課長。

○会計課長（高田 勝） 概要書13ページ、会計管理費のキャッシュレスシステムの利用料について御回答いたします。

システムの名前はクラウドペイというものを使っております。決済手数料の利用率はd払い、PayPayで2.6%、Alipay、WeChat Pay、au PAY、メルペイ、J-Coin Pay、楽天ペイ、2.95%です。いずれも消費税は税別となっております。

以上です。

○議長（中山五男） 平山総務課長。

○総務課長（平山茂樹） 私からは概要版22ページ、組織改編についてお答えさせていただきます。

令和8年度組織改編につきまして、大きな目玉としましては、都市整備課、これを新設するということになります。

狙い、目的になるのですが、J R 烏山駅周辺の中心市街地のリニューアル。宮原及び下境地区の防災集団移転促進事業の着実な実現。そして新庁舎の早期整備、これら市長の3期目の重要プロジェクトを着実に進めていくことが、その目的や狙いでございます。

また、都市整備課の新設に伴いまして、現在の都市建設課は従来の名称であった建設課に改組するというので、こちらも原点に立ち返りながら、所管事務を着実に進めていくことにしております。

それと、もう1点目でございます。予算書47ページ、また、113ページの防犯対策費から自治会交付金、こちらにかけてでございます。

まず、最初の自治会からの意見、検討の進捗ということでございますが、この件につきましては、県内市町の状況を踏まえまして、単に防犯灯の電気代を検討するというのではなくて、自治会活動支援制度全体で検討しているところでございます。

全体に関わるということなので、多角的に我々も検討を進めておりますので、その検討にお時間をいただいております。御理解いただければと思います。

②の質問につきましても、その予定や計画につきましては、先ほどの答弁と同様になります。自治会活動支援制度全体で検討しておるところでございますので、御理解いただければと思います。

また、自治会交付金が毎年減額しているという部分につきましてですが、こちらにつきましては、人口減少に伴いまして、各自治会の加入世帯数が減ってきているということで、その減少が予算にもあらわれているということでよろしく願いいたします。

また、③の会計状況の把握についてでございます。

我々も多角的に自治会交付金を検討してまいると申しましたが、そういった情報を各自治会の会計状況、そういったところを把握する必要があるだろうと考えてございます。

現在、全ての自治会において、そういった収支状況も確認させていただいております。

今後の自治会支援の在り方の検討に、そういった分析も生かしていきたいと考えておりますので、御理解いただければと思います。

以上となります。

○議長（中山五男） 石嶋上下水道課長。

○上下水道課長（石嶋賢一） それでは、私から上下水道課関係について御説明させていただきます。

まず、水道事業会計ということで、こちらの件でございますが、令和6年度に衛星漏水調査

を実施いたしまして、漏水の疑いのある箇所が127か所示されました。

それらについて今年度、個別漏水調査を実施しまして、おおむね調査が完了したところでございます。

調査の結果につきましては、令和8年3月2日現在でございますが、127か所で36件の漏水が発見されました。

衛星水調査は新しい技術であることから、今後も数年間隔で新技術の導入の検討等を行いまして、漏水調査については行っていきたいと考えてございます。

続いて下水道事業についてでございます。

こちらにつきましては、令和7年1月に埼玉県八潮市で発生した下水道管の破損事故を受けて、全国的に下水道管の点検調査を強化する取組が行われております。

本市におきましても、令和6年11月から令和7年の1月にかけて、腐食するおそれ大きいと思われる下水道管の点検調査を行いました。

その結果については、異常はなかったということでございます。

今後においても定期的に点検調査を行っていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（中山五男） 3番荒井浩二議員。

○3番（荒井浩二） 説明はおおむね理解したのですが、当初予算に関して、質問と答弁がかみ合っていない部分があったのですが、借金減少、今、本市のほうではここ何年もかけて、20億円くらい市債残高を減少させてきている中で、そのうち大きな投資を行っていく、その中で市債残高の減少を継続するような内容で予算を組んでいくのか、そこがどのように転換していくのか、主として会計の予算の計画を、やっぱり何年後か先を見通して事前に計画していくべきだと思いますので、そこを要望として意見としてお伝えさせていただきます。

また、自治会交付金のほう、現在各自治会の収支を確認していただいているということなのですが、自治会会計はかなり今、逼迫している箇所が多く、高齢化も進んでおります。早急に実態把握をしていただいて交付金の検討等を行っていただきたいと要望させていただきます。

歳出で1点だけお伺いしたいのですが、生成AI、業務系・情報系システムの管理で、校正や要約を行っていくということで、AIの種類等は決まっているのか、今後、次年度も検討していくような流れになっているのか。入札をやるのか、そこら辺をお伺いしたいのと、あと1点、過去の業務資料を読み込ませて業務改善を行っていくとあったのですが、さきの私の一般質問で、庁内文書のデジタルに対応をしていく中でいろいろ見直しとか決まりをつ

くっていかなければならないと思うのです。

いまだに、例えば議会事務局で配られる資料などの一部では、例えば、OCRが効かないものとかもあったりするので、そういったところを早急に庁内で整備をしていただいて、対応していく必要が先にあると思います。

AIの種類について教えてください。

○議長（中山五男） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 生成AIシステムには何種類かシステムがございます。何種類かを試行的に実際に試してみて、その中で本市に合ったものを選択していくこととしておりますので、御理解ください。

以上です。

○議長（中山五男） 3番荒井浩二議員。

○3番（荒井浩二） 了解しました。

○議長（中山五男） 暫時休憩いたします。再開を11時15分といたします。

御協力をお願いします。

休憩 午前11時06分

再開 午前11時15分

○議長（中山五男） 休憩前に引き続き再開をいたします。

4番堀江清一議員。

○4番（堀江清一） それでは、通告に基づいて質問をいたします。

私は、全て概要版の質問になります。

8ページ、農業総務費、具体的な内容をお願いします。

それと9ページ、定住促進住まいづくり事業費、これも具体的な内容をお願いします。

それと10ページ、急傾斜地崩壊対策事業費、事業対象箇所を詳しくお願いします。

11ページ、山あげ会館施設整備費、街路灯の数について分かればお願いします。

同じく11ページ、浄化槽設置事業費、中身を具体的にお願いします。

12ページ。まちづくり団体支援事業費、複数回とあるが何回までいけるのかなど、詳しくお願いします。

15ページ、辺地道路整備事業費、事業対象箇所、その他、詳しいことが分かればお願いします。

最後に21ページ、各基金残高です。ここ二、三年なのか急に増えている基金がありますが、その辺のところ、理由が分かればお願いします。

取りあえず以上です。

○議長（中山五男） 小口農政課長。

○農政課長（小口正一） それでは、農業総務費の中身について御説明申し上げます。

先ほどの高木委員とかぶってしまいますけれども、市長の公約にございます（仮称）新世紀農業創出実行委員会におけます委員、10名ほどを想定してございますけれども、そちらのほうの委員会出席時の報償費、先進地視察と市有バスの運転業務費用、シルバーのほうでございまして、そちらを合わせた40万3,000円となっております。

以上でございます。

○議長（中山五男） 菊池都市建設課長。

○都市建設課長（菊池章夫） それでは、私から予算概要書9ページ、定住促進住まいづくり事業費、10ページ、急傾斜地崩壊対策事業費、15ページ、辺地道路整備事業費についてお答えいたします。

まず、9ページの定住促進住まいづくり事業費についてお答えします。

定住のために、住宅を取得しました50歳未満の方に奨励金を交付して、移住促進及び定住促進を図るとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る事業でございます。基本額を10万円としまして、移住者加算で25万円。子育て世帯加算で15万円の最大で50万円の交付をいたします。

令和8年度におきましては、住宅取得奨励金40件を見込んでおりまして、内訳としましては、基本額10万円を40件で400万円。移住者加算25万円を18件で450万円。子育て世帯加算15万円を38件で、570万円の計1,420万円を見込んでございます。

その他、その経費を足しまして合計が1,420万5,000円となっております。

続きまして、予算概要の10ページの急傾斜地崩壊対策事業費についてお答えいたします。

こちらは、栃木県が施工する急傾斜地崩壊対策事業に係る負担金を計上してございます。箇所につきましては、小滝田IA、滝田。こちらは滝田地区の敬愛荘、烏山台病院、富士山苑の南側の斜面で土砂災害警戒区域に指定されている斜面となっております。

あと一つは、溜下IA、大金こちらは荒川小学校と南那須中学校の間にある住宅団地にある斜面です。こちらも土砂災害警戒区域に指定されている斜面となっております。そちらの負担金の合計で2,450万円ということになってございます。

続きまして、概要書15ページ、辺地道路整備事業費についてお答えします。

現在、辺地債を使いまして、田野倉曲畑線、田野倉と下川井柏崎線、志鳥の2路線を実施してございます。田野倉曲畑線につきましては、工事延長150メートルを予定してございます。下川井柏崎線につきましては、工事延長100メートルを予定してございます。その2路線の

合計で8,020万円の計上となっております。

以上です。

○議長（中山五男） 星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） では私からは概要書11ページ、山あげ会館施設整備費、街路灯の数についてお答えさせていただきます。

山あげ会館の敷地内には2種類の照明がございまして、照明の部分が2つになっている二股の街路灯と1つのデザイン灯がございまして、二股の街路灯は3基、デザイン灯は5基、合計8基。この8基をLEDの照明に変えるというのが今回の整備でございまして。

以上です。

○議長（中山五男） 石嶋上下水道課長。

○上下水道課長（石嶋賢一） それでは、上下水道課関係ということで浄化槽設置事業費について御説明いたします。

こちらの事業費につきましては、事業総額2,644万8,000円となっております。

内訳でございまして、浄化槽設置事業補助金。こちらについては、50基で1,886万6,000円となっております。

また、新規の事業といたしまして、宅内配管の助成といたしまして、こちらは15件で、495万円となっております。

これまでと同様ですが、単独浄化槽の撤去費補助金で、こちらについても15基で225万円ということで予定してございます。

その他、細かいところではございますが、システムの使用料等で38万2,000円となっております。

以上です。

○議長（中山五男） 大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫） 概要版12ページ、まちづくり団体支援事業費、こちらにつきましては、複数回とあるという件につきましては、まちづくりチャレンジプロジェクト事業についてですので、こちらについて説明させていただきます。

こちらの事業ですけれども、那須烏山市第三次総合計画に掲げます基本目標を達成するための事業で、市民活動団体、地域づくり団体、企業などから提案のあった地域貢献活動を審査し、採択したものに対して、その活動に必要な経費の一部を補助する事業です。

令和7年度までは、過去に採択された団体は1回限りの補助でしたけれども、一度採択された団体であっても異なる事業を提案いただければ、審査の上、採択可能ということで変更させていただきます。まちづくり団体などが、より活用しやすい支援策とさせていただきました。

新年度につきましては、1 団体最大 5 0 万円で合計 1 5 0 万円を計上しております。

以上です。

○議長（中山五男） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 概要書 2 1 ページ、各基金残高、基金が急に増額になった理由について御説明します。

基金につきましては、当初予算編成時に必要な額を取り崩し、3 月の補正予算時に歳入歳出の実績見込みを精査した余剰金を積み立てて運用しているところでございます。

増減の理由は、歳入が見込みより多く歳出が見込みより少なかったことにより、多くの余剰金が発生したためでございます。

主な要因としましては、歳入の見込みを控え目にしていること。事業執行において歳出抑制に努めていること。新規の大規模な事業が少ないこと、市債残高の減少とともに市債の償還金が減少していること。交付税が増加していること。ふるさと応援寄附金が増加していること等が考えられるところでございます。

以上でございます。

○議長（中山五男） 4 番堀江清一議員。

○4 番（堀江清一） 農業総務費なのですが、道の駅を造るに当たって、委員会を立ち上げるということでございます。6 回ほど会議を予定しているということだったのかと思います。それで 1 人当たりの報償費は幾らぐらいになるのでしょうか。

それと、定住促進住まいづくり事業費でございますが、5 0 歳未満になっております。なぜに 5 0 歳未満なのでしょうか。その辺もお伺いします。

急傾斜地崩壊対策事業費。この場所は分かりました。それで気になるのは、急傾斜崩壊地というか急傾斜、そういう危険地みたいところが、現在、岩子の橋を渡ったところがそのような指定をされておりますが、そこに家がありまして、その裏が、家の壁まで土砂が崩れて困っているという話も聞きました。

そこを何とかしてほしいということでしたが、全然その後は進んでいないようなので、そういうことも今後検討していただければと思います。

山あげ会館の施設整備費で街路灯の数が 8 基。8 基で LED にするのに、1, 3 6 0 万円何がしですか。これが高いのか安いのか自分には分かりませんが、いずれにしても、そういう予算をつけたということでございますが、気になるのは、私は小木須のほうに用事があって行くことがあります。街路灯というのですか、小木須の県道から小木須の地区に入る頂上付近まで、街路灯が 1 基もないのです。非常に、夜になると暗い。これは、そこを自転車を押して、真っ暗な中押していた、子供というか 1 8 歳未満の方がおりました。非常に私は心配しております。

そういうところにも、ぜひ強化していただければと思っております。ぜひ、その辺も検討してもらえればと思います。

それと、浄化槽は了解しました。

まちづくり団体支援事業についてですけれども、1団体50万円までということなのですから、例えばですが複数回、いろいろな事業になった場合、事業費が50万円をオーバーしても、50万円までということなのではないでしょうか。

それと、何回までということですから、何回でもオーケーということなのではないでしょうか。その辺をお願いします。

辺地道路整備事業費、2か所。この2か所については自分も把握しておりまして、ずっと見ているのですが進み具合が遅い。田野倉曲畑線に関しては、あと僅かですね。辺地道路整備事業費を使えば、要するに、有利な起債でできるということではありますが、本当にそちらのほうは狭いんです。下川井柏崎線よりも危険度があると思いますので、こう言うてはなんですけれども、例えば辺地道路整備事業費を使ってやれるところと、残りの僅かところ、合併特例債なんかを使ってさっさと終わらせてくれれば安全になるのではないかと思いますので、スピードアップして整備する必要があるなと思っております。

最後の各基金残高なのですから、ここ二、三年で急に増えております。例えば地域振興基金ですか。たしかちょっと前まで13億4,000万円だったのがいきなりもう18億円になっていますね。5億円ぐらい増えております。それも、どういう理由なのかと思いましたが、先ほどのように、要するに交付金が増えて、使うところが減って、入金が増えたからそれをそこに充てたということでもありますけれども、そういうことであれば、財政調整基金に充てればいいのではないかと思います。いつぞやの課長の答弁では、財政調整基金を多く積みますと、交付金が減らされると。そういうことなので、バランスのいい基金の積立て方なのかなというふうに思いますが、これは庁舎整備や、これからお金のかかるようなところにぜひお金を使いたいということで積み増ししているのではないかと思います。正直に言いますと、教育費や人材育成費などそちらのほうにも、支出を減らしたではなくて、そういうところにはぜひお金を使って、子供たちの育成にぜひ努めていただきたいと思います。

今、再質問したのを自分で言ったのを忘れてしまったのですけれども、取りあえず、それは要望という形になりますが、質問したものの答弁をお願いします。

○議長（中山五男） 小口農政課長。

○農政課長（小口正一） 委員会の件でございます。

委員1人当たり、1日で5,000円となっております。

以上でございます。

○議長（中山五男） 菊池都市建設課長。

○都市建設課長（菊池章夫） 定住促進のほうの、なぜ50歳未満かというの、すみません、後ほど確認して答弁させていただきます。

急傾斜地、岩子橋のところということですので、そちらは現場を確認して相談していきたいと思っています。

辺地対策事業債ですか、こちらに関しましては、進むように努力してやっているところですが、県の配分等が少なくと、そういうところがありますので思うように進まないところがございます。ですが、県のほうに同じ額、同程度を要望して、どんどん進めるように努力はしていきたいと思いますので、御理解よろしくをお願いします。

以上です。

○議長（中山五男） 大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫） まちづくりチャレンジプロジェクト事業についてですけれども、最大50万円ということですが、ある団体が例えば令和8年度に運動関係のイベント、事業をやったとしまして、最大50万円を補助できます。

その団体が令和9年度に、今度はスポーツ関係のイベントなど、そういったことをやる場合はまるっきり事業が変わりますので、また、その団体には審査の上、オーケーであれば最大50万円までの補助を出せることになります。

ですので、1団体、1年に一度がその団体にとっては限度かとは思いますが、年度を越しての複数回は可能ということになります。

以上です。

○議長（中山五男） 4番堀江清一議員。

○4番（堀江清一） いずれにしても、はっきり言って、再質問というより要望という形のほうが多かったのかと思いますが、ぜひそういう方向で地区をよくすること、また、人材育成に力を入れてほしいということを希望しまして、私の質問は終わります。

○議長（中山五男） 5番興野一美議員。

○5番（興野一美） 私の通告書は全て概要版からです。

4ページ。子育て世帯訪問事業費の本市のヤングケアラーの実態について伺います。

6ページ、中学校管理費。校内教育支援センターを各学校に設置、現在の状況を伺います。

7ページ、文化財保護費、文化財調査費、大量の文化財、発掘による文化財等がこれからも増えると思うのですが、現在の保存状況と今後の計画を伺います。

7ページ、南那須、烏山図書館運営費、予算の詳細及び統廃合の計画を伺います。

8ページ、農業総務費、これは高木議員と堀江議員もありましたけれども、実行委員会の詳

細説明は了解しました。

昨年も持続可能な農林漁業育成戦略、予算書にも稼ぐ農業への転換とありますが、まるっきり同じなのです。施策について、どういう施策があるか伺います。

11ページ、新庁舎整備費、民間活力導入可能調査の詳細説明を伺います。

以上です。

○議長（中山五男） 水上こども課長。

○こども課長（水上和明） 私からは概要書4ページ、子育て世帯訪問支援事業費に関連いたしまして、本市のヤングケアラーの実態についてお答えいたします。

令和6年6月に、子ども・若者育成支援推進法が改正されまして、家族の介護、そのほかの日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子供、若者がヤングケアラーとして明記されました。

本市では、ヤングケアラーの把握を目的としまして、令和6年度に無記名方式で小学6年生と中学2年生を対象に、ヤングケアラー実態調査を実施いたしました。

結果、家族の世話をしている割合は、小学生で19.4%、中学生で3.1%でありました。

ただ家事や家族の世話を日常的に行っている子供全てが問題というわけではなくて、家族のケアをすることにより、子供自身の勉強や遊び時間が圧迫され、身体的、心理的負担に至ることが問題となります。

そのようなことから、ヤングケアラーの定義に当てはまるかは、家庭の状況で判断するため、回答した全員がヤングケアラーに該当するというわけではありませんが、中には勉強する時間がないと回答した児童生徒もいたことから、現在、注意深く見守っているところでございます。

ヤングケアラーは貧困家庭などの問題に比べて、外部から発見しにくく、支援が必要な子供の把握が難しい面があり、支援には地域や学校など様々な視点からのフォローが必要と考えております。

今後は関係機関とさらなる連携強化を図りながら、必要な支援を行ってまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（中山五男） 齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文） それでは、私は校内教育支援センターの設置、現在状況についてお答えいたします。

校内教育支援センターの予算額につきましては、先ほど高木議員にもお答えいたしましたが、予算額361万2,000円につきましては、支援員1名を増するための人件費であります。

令和7年度は支援員1名で、烏山中学校を拠点に、週3日と南那須中学校2日の勤務として

おりましたが、令和8年度はそれぞれ1名とするものである。

一応、活用状況としましては、2月末の現在ではありますが、毎日ではありませんが、南那須中学校がおおむね12名程度、烏山中学校が6名程度利用している状況です。

以上です。

○議長（中山五男） 塩野目生涯学習課長。

○生涯学習課長（塩野目豊一） 生涯学習課からは文化財保護費、文化財調査費、烏山、南那須図書館運営費の件でお答えいたします。

まず、文化財保護費、文化財調査費に関する中身です。大量の文化財発掘による文化財と現在の保存状況と今後の計画を伺うということで、市が保管する古文書、民具等の文化財を旧七合中学校で保管しています。古文書など、重要な文化財については温度湿度が管理できる特別収蔵庫に保管しております。民具類などは、カーテン等で遮光した教室に保管しております。

また、発掘調査等による埋蔵文化財、遺物は旧向田小学校に保管しております。収蔵資料の一部は、旧向田小学校の展示室で展示するとともに、デジタル博物館で公開しております。

なお、今後の計画については、今後策定を予定しております文化財保存活用地域計画というのがあるのですが、そちらの中で、郷土教育や地域活性化に向けた利活用について検討していきたいと考えております。

次に、図書館費の予算の詳細及び統廃合の計画を伺うということで、図書館費については、烏山図書館が予算総額で2,656万円。南那須図書館については、予算総額5,450万円で、主に図書館の指定管理委託料となっております。

なお、統廃合の計画については、現在パブリックコメントを実施しています生涯学習施設個別施設計画で、烏山図書館においては、新庁舎整備に合わせて新庁舎と南那須図書館に機能を分散させ、集約複合化していく計画でございます。

以上です。

○議長（中山五男） 小口農政課長。

○農政課長（小口正一） 稼ぐ農業ということでございます。

令和7年度につきましては、こちらのほうですと令和8年度の概要書にもあるのですが、要は園芸振興事業費、園芸作物のパイプハウスや果樹棚の導入費用の助成が令和7年度は1,500万円ほど計上してあったものがございます。

こちらに助成して、要は稼ぐ農業への転換を図るというようなことでの位置づけをしてございました。令和8年度につきましては、1,500万円が750万円ということでの位置づけとなっております。

以上でございます。

○議長（中山五男） 菊池都市建設課長。

○都市建設課長（菊池章夫） それでは、私から予算概要書11ページ、新庁舎整備費、民間活力導入可能性調査の詳細についてお答えいたします。

現在策定中の庁舎基本計画では、行政庁舎機能に加え、多世代交流施設を合築し複合化を図る計画としてございます。

1階に配置する多世代交流施設については、平日夜間や休日にも市民等が利用できる施設を視野に、民間のノウハウ、創意工夫を取り入れてサービスの質の向上や、財政負担の軽減を図るため、今後、民間活力の導入を視野に入れた検討を行うこととしてございます。

民間活力導入可能性は、民間の資金やノウハウを導入することで、効率的かつ、高い公共サービスが実現できるかどうかを事前に調査し、本市にとって最も望ましい新庁舎整備の事業手法を選定するために行う事業となっております。

以上です。

○議長（中山五男） 5番興野一美議員。

○5番（興野一美） 子育て世帯訪問事業費、ヤングケアラーのことなのですが、やっぱり、ニュースやインターネットなどを見るとヤングケアラーは相当イメージ悪い雰囲気がありますので、よく注意して今後とも、なくなるように進めてもらいたいと思います。

次に6ページの校内教育支援センターのことなのですが、支援員は何か資格が必要なのかどうか、伺いたいと思います。

それと、7ページの文化財保護、文化財のことなのですが、旧七合中学校を以前に文教福祉で見学させていただきましたけれども、やっぱり市民の皆さんが見学できるような、デジタル博物館は分かりますけれども、量的に本当に少ない量なので、やっぱり画像で見るのと実際に見るのとではえらい違うと思うのです。ですから、ぜひ、どこかの南公民館ではないですけども、やっぱり毎日開館できるような場所を見つけて、施設の有効活用をしていただきたいと思います。

それと図書館、烏山、南那須図書館も相当前からこの懸案はあると思うので、ぜひ、統合しろという問題ではないのですが、やっぱり相当な金額も、指定管理者で5年に一度見直しもあると思うのですが、やっぱりこの問題は必要だと思うので、これは希望なのでよろしくお願いします。

以上です。

○議長（中山五男） 齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文） 支援員の資格なのですが、必ず必要だという資格はありません。ただ、本市としましては、支援センターの運営に関しては、やはり不登校の児童、学校に

入れない子供たちなど、様々な問題がありますので、小学校または中学校の教員免許を持っている方ということで採用しております。

以上です。

○議長（中山五男） 塩野目生涯学習課長。

○生涯学習課長（塩野目豊一） 現在は、常時開設しているわけではなくて、予約制という形で学芸員がついてきて、そこで説明するような形を取っているのですが、一番は常時開設できるようなところがあればいいといいとは思っているのですが、そういうところが見つかるまでは、南那須図書館などを利用いたしまして、企画展などを開催していきたいと考えております。

以上です。

○議長（中山五男） 内藤教育長。

○教育長（内藤雅伸） お答えいたします。

図書館の機能を維持しつつ統合、整理していくことは以前からも、私も引継ぎのときも話がありまして、そのほうを進めていかなければと思っております。

現在、新市庁舎の中で図書館機能もということで話が出てきましたので、そちらも含めて検討していかなければならないと考えておりますが、烏山図書館の機能全てが南那須図書館に移行するかどうかも含めて、今後検討していきたいというふうに思っております。

ただ、烏山図書館には大変貴重な資料がたくさんあるということも伺っております。そういった貴重を有効活用するためにも、どのようにしていけばいいかを今後、検討させていただければと思います。

以上でございます。

○5 番（興野一美） 了解しました。

○議長（中山五男） よろしいですか。

○5 番（興野一美） はい。

○議長（中山五男） 7 番矢板清枝議員。

○7 番（矢板清枝） それでは、令和 8 年度当初予算総括質疑を通告に基づきながら、質問させていただきます。

概要版から、全て質問させていただきます。

8 ページ、商工総務費、なすからブランドの推進、ワーク・ライフ・バランス推進企業認定事業等の実施の事業の詳細及び令和 8 年度の目標をお伺いいたします。

同じく 8 ページ、中小企業振興対策事業費、中小企業等が行う販路拡大・競争力強化・創業・事業拡大への助成、事業の詳細をお伺いいたします。

同じく8ページ、企業立地促進事業、事業用の施設や設備等の整備に対する奨励金の交付、企業誘致のための用地確保、新規の産業団地の適地調査業務委託、調査機関及び事業の詳細をお伺いいたします。

同じく8ページ、プレミアム付商品券は、高木議員も聞いていたのですけれども、詳細というよりは、今後の考え方、昨年同様、同じく実施していく内容なのかという、そのところをお伺いいたします。

それから同じく概要版8ページ、農業振興費。これは農業公社や農作物、病虫害防除対策協議会への助成、新規の飼料や、肥料等の価格高騰の影響を受けている農林水産業事業者への助成ということでお話は伺っているのですけれども、もう一度事業の詳細をお伺いいたします。

同じく9ページ、公園等観光施設整備費、龍門の滝水辺公園等の観光施設の整備費、新規龍門の滝周辺改修工事計画の事業委託で、改修工事の期間及び事業の詳細をお伺いいたします。

それから10ページ、空家対策事業費、これもお伺いしているのですけれども、空き家の除却に対する助成で規格は決まっているのですが、これはこういった基準で決めていくのか、そういうことをお伺いしたいと思います。

11ページ、新庁舎整備で、新庁舎の民間活力の導入、先ほど民間活力の導入という点ではお伺いしているのですけれども、もう一度事業の詳細をお伺いいたします。

11ページ、同じく都市計画総務費、都市計画の見直しということで事業の詳細をお伺いいたします。

同じく11ページ。水道事業会計繰出金、水道基本料金の減免ということでお伺いしているのですけれども、事業の詳細をお伺いいたします。

最後、11ページ、JR烏山線利用促進事業ということで、見込み数なども含め、事業の詳細をお伺いします。

そして、乗って残そう烏山線というのも、同じく事業を行っていると思うのですけれども、その詳細をお伺いいたします。

以上です。

○議長（中山五男） 質疑の途中でありますが、間もなく12時になりますので、ここで暫時休憩をしたいと思います。

再開を13時といたします。御協力をお願いします。

休憩 午前11時55分

再開 午後 1時00分

○議長（中山五男） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

午前中、矢板清枝議員の質疑が終わったところですが、各課長の答弁を求めます。

星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） 私からは、予算の概要版8ページについては4項目及び概要版9ページにつきましては、公園等観光施設整備費についてお答えさせていただきます。

まず、1点目の商工総務費、なすからブランドの推進、ワーク・ライフ・バランス推進企業、この事業の詳細と令和8年度の目標というところで御質問いただきましたが、まず、なすからブランドでございますけれども、事業の詳細につきましては本市独自の基準に適合する品質を備えた、なすからブランド認証委員会で認証された市内の優れた製品の情報発信により、本市の知名度向上、産業の振興、地域経済の活性化を図っていくというものをこの事業の中でやっていきたいと思っております。

令和7年度に認証作業を行いまして、こちらは3年に一度行っているのですが、更新したものが17品目、新規が8品目で合計で25品目になってございます。こちらを令和8年度から3年間、PR等をしていきたいと考えてございます。

令和8年度の目標についてですが、まず、なすからブランド認証委員会によって協議させていただいて、制度の内容ですとか、認証品の新規販路開拓に意見をいただくというようなことをやっていきたいと思っております。

それと認証者の販路拡大支援ということ。認証品を市のノベルティーとして購入させていただいて、いろいろな事業でそれを配らせていただく、PRさせていただく。それと、今年度は商談会等へ出展しまして、認証品のPRをしていきたいと考えてございます。

ワーク・ライフ・バランス推進企業の認定事業についてです。

事業の詳細については、こちらは、働きやすい職場環境の実現に取り組む市内の企業を認定させていただき、企業の取組を周知して、働きやすい職場環境というものが市内の事業所でそういった環境の整備に取り組んでいただくことを推進していくものでございます。

また、併せてそういった企業のPRをしていくというのがございます。認定の状況につきましては、令和7年度までに12社を認定させていただきました。

令和8年度につきましては、3社程度を少なくとも認証していきたいと考えてございます。

続いて中小企業振興対策事業費700万円についての事業の詳細ということですが、こちらは、市内の事業所及び商店会等の事業を支援しまして、販路拡大・競争力強化・創業・事業拡大の助成を行っていくということで、700万円の補助金でございますけれども、これを6つのメニューで実施していきます。

そのうちの 하나가、特許権等の知財権の取得に係る費用を助成するもの。

2つ目が、県外イベントの出展等に出展する際の費用を助成するもの。

3つ目が、各事業者が自分たちで経営上の課題を見つけ、それを商工会と連携して解決する、経営の課題解決策の計画を立てて、それを解決していく事業に対する支援。

4つ目が、空き店舗を使って、新規のお店を開いていただくところに対する助成。

それと、5つ目が市内で新規の創業ですとか、第二創業をする場合の助成。

それと、6つ目、最後になりますが、商店会等が実施するイベント事業等、あるいは販路拡大、共同販売会等を行う場合の助成をしていきたいと考えてございます。

以上の6つのものに対して、合計で700万円の補助メニューをつくってございます。

続いて企業立地促進事業費、こちらは産業団地の適地調査等の業務委託の期間等でよろしかったでしょうか。そちらについてお答えさせていただきます。

こちらにつきましては、新たな産業団地に適した候補地を調査しまして、その候補地になるだろうというところを複数か所を挙げられればと考えてございます。その中で、将来の産業団地整備における基礎資料とさせていただきたいと、候補地を複数か所出したり、あるいはその中でのそれぞれの面積がどのぐらい造れるか、あるいは、それぞれどういった業種が、どういった目的の団地が適しているのか、そういったところを調査できればと考えてございます。

調査期間につきましては、6月頃から年度末までをかけていきたいと考えてございます。

4つ目のプレミアム付商品券事業について、昨年と同様に実施していくのかという御質問をいただきました。詳細につきましては、今後商工会と協議をしながら決定していくことにはなりますが、令和7年度の実施状況をベースに、やはり考えさせていただきたいと考えてございます。紙での発行及びデジタルでの発行をしていく予定としてございます。実施時期については、秋以降を考えてございます。

続いて公園等観光施設整備費です。改修工事期間及び事業の詳細というところで御質問いただきました。令和8年度予算計上させていただいております経費につきましては、龍門の滝の遊歩道、防護柵、観瀑台等、龍門ふるさと民芸館の下のところに見える部分でございますけれども、そちらの改修を行うための設計業務委託になります。

設計委託を実施しまして、実際にどういった改修を行っていくのか、あるいはそれに伴う改修は幾らぐらいかかるのかを、この業務の中で把握したいと思っておりますので、実際の現場の改修工事につきましては、その後のお話になってしまいますので、御理解いただきたいと思います。

以上でございます。

○議長（中山五男） 小口農政課長。

○農政課長（小口正一） それでは、私からは概要版の8ページ、農業振興費につきましての詳細でございます。

まず、高木議員の部分とかぶるところがございますけれども、国の物価高騰の交付金を活用して原資としておるところでございますが、飼料や肥料、あとは燃料費、農薬の一部を助成すると。主に農業申告、青色白色を問わず対象にしていこうと考えてございます。飼料費につきましては、飼育頭数などを基礎ベースにいたしまして補助する考えでいるところでございます。

最終的に総額3,000万円の予算の範囲内での支払いを見込んでございます。残りといましては、あと480万8,000円でございます。

主なものでございますが、農業公社運営費補助が400万円。あと大きいものが、市の農作物病虫害防除対策協議会宛てに、農薬代といたしまして900ヘクタール、1ヘクタール当たり700円で63万円を補助するものでございます。

以上でございます。

○議長（中山五男） 菊池都市建設課長。

○都市建設課長（菊池章夫） 私からは予算概要の10ページ、空家対策事業費、11ページ、新庁舎整備費、同じく11ページ、都市計画総務費についてお答えいたします。

まず、空家対策事業費の中の特定空家の基準でございますが、こちらは、建築物、またはこれに附属する工作物で、居住、その他の使用がなされていないことが常であるもので、その敷地で老朽化して、そのまま放置すると倒壊、あと著しく保安上危険となる、また、衛生上有害となるおそれがある状態であるなど、周辺への影響が非常に大きいと認められるものを指してございます。

次に、予算概要書11ページの新庁舎整備費についてお答えいたします。

民間活力導入可能性調査につきましては、先ほどお答えしましたように、現在策定中の庁舎基本計画では、今後、民間活力の導入を視野に入れた検討を行うこととしてございます。

本市にとって最も望ましい新庁舎整備の事業手法を選定するために行う業務委託で1,200万円。

また、新庁舎整備予定地の用地、物件調査等につきましては、新庁舎整備予定地の用地取得や設計に進むために、必要となる基礎的な調査を実施するものでございます。

具体的には不動産鑑定手数料70万円、土地鑑定評価業務委託192万円、また、現況平面図を作成するための測量業務委託で420万円。土地の筆界、公図上の境を確定し、面積を測定する用地測量で1,320万円。建物などの工作物補償費を算定する物件補償で3,000万円を計上しておりまして、トータル6,020万2,000円となります。

続きまして、予算概要11ページの都市計画総務費についてお答えいたします。

都市計画総務費につきましては、都市計画行政を適切に運営するための経費を計上してございます。

用途地域の見直しに伴う都市計画決定図書作成業務委託につきましては、昭和24年に決定されました旧烏山市街地の都市計画を現在の現状を踏まえて、令和7年度に用途地域や都市計画道路の見直しを検討してございます。

その成果を基に、都市計画を変更していくための図書を作成する業務で180万円を計上してございます。

また、烏山駅周辺雨水排水調査業務委託につきましては、駅周辺の雨水排水の現況、こちらを把握して、今後の駅周辺を整備していくに当たって必要となる基礎資料を作成する整備するための調査で800万円。

また、令和8年度に、5年に一度実施されます都市計画基礎調査として275万円を計上しており、その他都市計画全般に関わる経費を計上しまして、合計1,350万8,000円となっております。

以上です。

○議長（中山五男） 石嶋上下水道課長。

○上下水道課長（石嶋賢一） 私から、上下水道事業会計繰出金、基本料金の減免6,988万円について御説明いたします。

こちらにつきましては、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しまして、物価高騰の影響を受けている市民や事業者の経済的負担の軽減を図るものでございます。

内容といたしましては、給水件数約1万件に対しまして、1回当たりの基本料金2,300万円を3回行いまして、減免金額が6,900万円。システム改修費として88万円となっております。

以上でございます。

○議長（中山五男） 大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫） 概要版11ページ、JR烏山線利用促進事業費について御質問いただきましたので、お答えいたします。

こちらの事業費の主なものですが、宇都宮方面への市の職員の出張旅費、こちらにつきまして、14万3,000円。通学定期券購入費補助金に500万円。乗って残そう烏山線！未来へつなぐ助成金、こちらに40万6,000円。JR烏山線利用向上委員会交付金100万円となっております。

乗って残そう烏山線！未来へつなぐ助成金につきましては、現在は原則3名以上の市民が利用する場合や、高校、大学入試では1人以上で対象となりますが、令和8年度は市民が資格試験を受ける場合も対象とさせていただきたいと思っております。

さらに県外の団体が市有施設を使用する合宿についても対象を拡大いたします。これは栃木

県のスポーツ合宿開催費補助金を受けた団体のうち、市の施設を利用する団体に補助するものでございます。烏山宝積寺間の約500人ほどの利用を見込んでいるものです。

また、通学定期購入費補助につきましては、現在、高校生までを対象としておりますが、令和8年度は対象を大学生まで拡大いたします。高校生などで260名。専門学校、大学生50名を見込んでおります。

以上でございます。

○議長（中山五男） 7番矢板清枝議員。

○7番（矢板清枝） 答弁をいただきました。

その中から何点か再質問させていただきます。

なすからブランドの推奨と、ワーク・ライフ・バランスの推進企業の認定事業ということで、そのワーク・ライフ・バランスに関してなのですけれども、12社が今認定をされていて、今年度は目標数を3社にするというお伺いをしました。

働きやすい職場環境というか認定に至るまでの規定というか、それがどんなふうなことが会社を求める部分で、認定に至るのかをお伺いしたいと思います。

それから、中小企業振興対策費の中の、先ほどお伺いしたのですけれども、これ目標数というか、それが何か数的なものが目標としてあるのか、お伺いしたいと思います。

それから、企業立地促進事業のところ、調査をする場所は、あらあら決まっているのかどうか、そのところをお伺いしたいと思います。

それからプレミアム付商品券なのですけれども、令和7年度をベースにして紙とデジタルを併用して、秋以降に実施予定ということをお伺いしましたが、なかなか紙を買う方は限定的であり、また、デジタルを使用する方は、なかなか紙を買った方は、デジタルまで一緒に買うことはできにくいので、デジタル版を買うのですけれども、やはり売れない場合、去年は売れなかったもので、もう一度お願いして買ってもらうような状況で、やっと完売できたような状況になっていますので、しっかりそのつくりを、2回売るなどではなくて1回で売り切れるような売りさばきができるようにしていただきたいと思うのと、市内のデジタル版でPay Payを使えるお店はあるのですけど、Pay Payを使って、商品券がそこに加入していただけないところがあるので、そういう方のところ、また、コンビニ等も含め交渉していただきながら増やしていただきたいと思っています。そのところをもう一度聞きたいと思います。

それから、農業振興の部分では、分かりましたので大丈夫なのですが、件数はきっちり、対象件数というのですか、それは決めているのかどうか、お伺いします。

それから公園整備に関しては、了解いたしました。

空家対策の部分でも、しっかり、これから特定の除却をしなければいけないものを決めてい

ただかなければいけないと思いますので、よろしくお願いします。

新庁舎の部分では、しっかり調査をかけていただいて、今後につながっていくようにしていただければと思います。

都市計画総務費の雨水排水の状況をしっかり見ていただくということで、分かりました。

水道事業会計に関しては、3回に分けてということなので、2か月に1回という意味だと思うのですが、4月から実施予定になるのかそここのところをお伺いします。

それから、乗って残そう、J R 烏山線に関しては了解いたしました。

以上です。

○議長（中山五男） 5点ほど課長の答弁があるのですが、時間が迫っていますので、簡潔明瞭をお願いします。

星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） では、まず、ワーク・ライフ・バランスの企業の求められる項目でございますけれども、4項目ございます。

一つが働きやすい環境づくりをしているかどうか。

2つ目が育児介護等と仕事の両立支援がされているかどうか。

3つ目が女性活躍の支援がされているかどうか。

4つ目が地域活動の支援がされているかどうか、この4項目について、どれか一つ以上が、その中で幾つかまた、細かいものがあるのですけれども、どれか一つ以上が全てこの項目をクリアした上で、さらに15項目をクリアすると認定されます。

中小企業振興対策事業の目標でございますが、こちらは予算を計上するときのそれぞれの積算根拠としまして、まず、特許権につきましては1件。県外イベントの事業につきましては5件。経営課題解決事業につきましては15件。空き店舗対策につきましては3件。創業者支援につきましては3件。まちなか商店にぎわいの支援につきましては2件。それぞれでこちらを積み上げますと700万円になることで我々としては計画しております。

企業立地促進事業の調査地点について、こちらにつきましては、細かな場所は決まっております。市内全域を対象にしたいと思っております。

プレミアム付商品券事業につきましては、確かに令和7年度も、デジタル分については追加販売をして全部売り切ったという状況でございますので、これにつきましては、さらに今度は1回で売り切れるように、さらに使用できるお店もできるだけ加入していただけるように、周知していきたいと思っております。

以上です。

○議長（中山五男） 石嶋上下水道課長。

○上下水道課長（石嶋賢一） 私から、水道料金減免の実施時期ということで御質問いただきました。

現在の予定でお答えさせていただきますが、令和8年度後半の半年分、3回分を予定してございます。

以上です。

○議長（中山五男） 7番矢板清枝議員。

○7番（矢板清枝） 今の水道料金の減免の実施時期、後半というのは、6月、7月からという意味でしょうか。もっと遅い。10月かな。

○議長（中山五男） 石嶋上下水道課長。

○上下水道課長（石嶋賢一） 現在の想定ということでお聞きいただきたいと思います。システム改修等の都合等が今後入ってきます。そういった関係で、現在の予定であります、10月、12月、2月という時期となります。

以上です。

○7番（矢板清枝） 了解です。

○議長（中山五男） ここで午前中に行われました堀江議員の総括質問に関し、執行部から追加答弁がございます。

菊池都市建設課長。

○都市建設課長（菊池章夫） 午前中、堀江議員のほうから質問いただいた予算概要書、9ページの定住促進住まいづくり事業で、なぜ対象年齢が50歳未満なのかというところでお答えいたします。

こちら、子育て世帯、若者の世帯の定住促進を図ることを目的としたため、50歳未満といたしました。

御理解よろしくをお願いします。

○議長（中山五男） 御答弁される課長に一つ申し上げたいと思います。

議員質問に対して課長の答弁では、事業内容の説明に加えまして、いかなる事業効果が上がるのか、質問の状況によっては、加えるべきではないかと思っています。

以上です。

8番滝口貴史議員。

○8番（滝口貴史） それでは、令和8年度当初予算の総括質疑通告書に基づいて執り行わせていただきます。

初めに全て概要版から質問させていただきます。

5ページ、南那須庁舎管理費、多目的トイレの新設について御質問させていただきます。

概要版8ページ、企業立地促進事業費、ただいまも質問があったと思うのですが、具体的にどのようなことを行うか、お願いいたします。

9ページ、観光振興費、市民秋まつり実行委員会の補助金650万円について質問いたします。

シティープロモーション事業費、イメージキャラクターグッズ制作の業務委託82万5,000円について御質問いたします。

住宅リフォーム助成事業費、詳細について質問させていただきます。

10ページ、空家対策事業費、空家除却補助金について質問いたします。

同じ11ページ、エネルギー対策事業費、個人向け省エネ家電購入費用の助成について質問いたします。

同じく11ページ、道路維持管理費、路肩の除草、土砂撤去等の業務、支障木伐採業務の詳細について質問いたします。

12ページ、市政懇談会、タウンミーティング、移動市長室、詳細と具体策について詳しく教えてください。お願いいたします。

業務系・情報系システム管理運営費、生成AIの導入について質問いたします。

環境保全型農業直接支払支援対策事業費、環境保全型農業とはどのような農業か質問いたします。

同じく15ページ、鳥獣被害対策事業費、鳥獣被害対策の現状についてお伺いいたします。

22ページ、令和8年度組織改編について詳細を伺います。

○議長（中山五男） 平山総務課長。

○総務課長（平山茂樹） それでは、私から2項目ほど答弁させていただきます。

まず、概要5ページの多目的トイレの新設についてでございます。

こちらにつきましては、南那須庁舎1階北側の女性用トイレを改修し、多目的トイレへと整備するものでございます。

整備の内容としましては、車椅子用洋式便所の設置、これに加えまして、オストメイト対応流しの設置、ベビーチェアの設置、おむつ交換台の設置、それらを予定してございます。

従来の女性用トイレ、農政課の前にあるトイレでございますけれども、こちらにつきましては改修せず、そのまま使用する、そのような形をとらせていただきました。

また、この改修によって来庁者、職員、それぞれの利便性が上がる、そういった環境の整備につながるものと感じております。

それと概要22ページの組織改編についてでございます。

こちらにつきましては、午前中に荒井議員にもお話しした内容と一部重複しますが、今回の組

組織改編、目玉としましては、都市整備課を新設するということになります。こちらの目的、狙いとしまして、J R 烏山駅周辺の中心市街地のリニューアル、宮原及び下境地区の防災集団移転促進事業の着実な実現、そして新庁舎の早期整備、これらの市長3期目の重要プロジェクトを着実に進めていく、そのようなことで組織改編させていただいた次第でございます。

私からは以上となります。

○議長（中山五男） 星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） では私からは2点、概要版8ページの企業立地促進事業費と概要版9ページの観光振興費についてお答えさせていただきます。

まず、企業立地促進事業費の具体的内容でございますが、企業立地促進事業費では、先ほど矢板議員のときにも答弁させていただきました産業団地の、今回、候補地の調査業務が含まれてございます。そちらは330万円でございます。そちらの内容につきましては、将来に向けた産業団地整備のための候補地を探す調査でございます。

それともう一つは、企業の新設、増設等を支援するため、従来から企業立地奨励金という制度を設けまして、事業者を支援してまいりました。その事業者支援をすることによりまして、働く場の確保ですとか、産業の振興を図ったところでございます。

そちらにつきましては、令和8年度は、全体としましては5事業者に対しまして2,676万円の企業立地奨励金の交付を予算計上させていただいてございます。

続いて、概要9ページ、観光振興費、市民秋まつり実行委員会の補助金の650万円についてでございますが、市民秋まつりの実行委員会につきましては、令和7年度におきましては市制20周年記念事業として実施させていただきましたが、令和8年度からは市制20周年は別にしまして、継続的に市民秋まつりを行っていくことを計画しているところでございます。

そのため、実行委員会等は全く新しいものにすることになると思います。現在そういったことがありまして、実行委員会の立ち上げ及びその事業内容につきましても、これからという形になっておりますので、この650万円につきましては、令和7年度と同規模のイベントをやった場合にはその程度かかるということで、今回予算措置をした経緯がございます。

以上、御理解いただきたいと思います。

以上です。

○議長（中山五男） 大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫） まちづくり関係で2点御質問いただきましたので、お答えさせていただきます。

まず、9ページ、シティープロモーション事業費ですが、こちらは午前中の福田議員の答弁と重複いたしますので御理解いただきたいと思います。

こちらは、ここなす姫、からすまる、やまどんの3体イメージキャラクターのグッズを作りまして、市のイメージアップ、認知度向上に貢献するとともに、市民団体、企業などがイメージキャラクターを身近なものとして認識して、親しみを持って様々な場面で御活用していただくため、グッズを作っていきたいと考えております。こちらは75万円のものに消費税を掛けた金額が82万5,000円となっております。

続きまして、11ページ、エネルギー対策事業費です。

こちらは個人向け省エネ家電購入費の助成になります。こちらは、エネルギー価格高騰の影響を受ける市民の支援をするとともに、市における温室効果ガス排出量の削減を図ることを目的とし、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用する補助金となります。

補助対象家電としましては、エアコン、電気冷蔵庫、照明器具及びテレビの4つの家電が対象となります。補助要件としましては、販売店から直接購入する新品の家電であること。資源エネルギー庁が公表する省エネ型製品情報サイトにおいて公表されている製品であること。同じく資源エネルギー庁が発行している省エネ性能カタログにおいて、省エネ基準達成率が100%以上であること。自らが居住する市内の住宅に設置する家電であること及び、規定の執行の日から市長が定める期日までに購入し、かつ設置が完了したものであることとなります。

補助対象経費につきましては、1度の支払いにおいて購入した補助対象家電の購入にかかる費用とし、設置に係る工賃、配送にかかる経費。既存の家電の処分に係る経費、並びに消費税及び地方消費税の額は除くことといたします。

また、販売店のポイント、クーポンを使用した場合、補助対象経費はその分を差し引いた金額となります。

ただし、秋以降に発行されますプレミアム付商品券の併用は可といたします。

次に、補助金の額についてですが、補助対象家電の購入に係る費用の4分の1を乗じて得た額としまして、上限額を20万円といたします。

注意点としましては、先ほども申し上げたとおり、1度の支払いであること。また、当該年度において1世帯につき1回を限度とすることになります。

以上となります。

○議長（中山五男） 菊池都市建設課長。

○都市建設課長（菊池章夫） それでは私から、予算概要書9ページ、住宅リフォーム助成事業、10ページ、空家対策事業費、11ページ、道路維持管理費についてお答えいたします。

まず、予算概要9ページの住宅リフォーム助成事業費についてお答えします。

こちらは市民が居住する住宅のリフォーム工事費の一部を助成し、市民の定住促進及び地域経済の活性化を図る事業でございます。

市内施工業者による、30万円以上の市内住宅リフォーム工事費の10%、最大10万円を助成する事業でございます。

令和8年度におきましては、補助金60件分で600万円の計上とその他経費を合わせまして、601万6,000円となっております。

予算概要10ページの空家対策費につきましては、荒井議員、矢板議員との答弁と重なってまいりますので、御理解ください。

続きまして、予算概要11ページの道路維持費の路肩除草、土砂撤去等の業務についてお答えいたします。

こちらは路肩雑草の繁茂が激しい箇所の除草及び雑草繁茂の原因となっている落ち葉等が堆積し腐葉土化した堆積土を除去し、草の繁茂抑制につなげるための業務で1,000万円を計上してございます。

また、支障木伐採業務につきましては、支障木の繁茂が激しい箇所の伐採及び道路上に生い茂る枝の伐採をし、倒木などを未然に防ぐための業務で500万円の計上となっております。

以上です。

○議長（中山五男） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 私からは、概要版12ページ、市政懇談会・タウンミーティング・移動市長室について、お答えします。

市民の皆様のお意見をいただく集団広聴事業の一環としまして、市政懇談会・タウンミーティング・移動市長室を実施しております。

市政懇談会は申込み制となっております。単独あるいは複数の行政区、自治会または任意団体が主催する懇談会に市長及び市の執行部が出席し、事前に提出いただいた市政に関する質問や御意見にお答えするものです。

次に、なすからタウンミーティングは市がテーマや開催日を決めて開催するものです。開催時には広報誌や、各世帯にチラシを配布して周知しているところでございます。

移動市長室は、こちらも申込み制となっております。市民、市内在勤者、通勤者等で1グループ5人から10人程度の団体を対象とし、市長が申込者の指定する場所に出向きお話を伺うものであります。これらにつきましては、行政区長会議で自治会長の皆様に周知するとともに、広報広聴のホームページで周知をしているところでございます。

続きまして、概要書12ページ、業務系・情報系システムの管理運営費について、こちらは荒井議員の答弁とかぶりますが、最新のデジタル技術を活用しまして、効率的で質の高い行政運営を実現させるため、新規事業としまして、生成AIシステム導入費を計上しているところでございます。

生成A Iの利活用につきましては、文書の構成や要約アイデア出しや企画立案の支援、過去に蓄積した膨大な業務資料や文書を生成A Iに活用することで、日常業務の効率化を図っていきたいと考えておるものです。

以上でございます。

○議長（中山五男） 小口農政課長。

○農政課長（小口正一） 私からは概要版15ページ、環境保全型農業直接支払対策事業費で、環境保全型農業とはどのような農業かということでございます。

中身的には、化学肥料、化学薬品を原則、通常より5割以上を低減する取組に加えまして、地球温暖化防止に効果の高い有機農業、堆肥の使用、緑肥の使用、緑肥といいますとカバークロップを植えて、その後、耕してすき込むというようなものでございます。そちらを活用して土壌中に炭素を貯留、閉じ込めるというようなことで地球温暖化防止に貢献をすると。

それと、または営農活動や生物多様性保全等に効果の高い、こちらにも有機農業、総合防除。総合防除は、耕種的防除とか抵抗性品種の導入、輪作、排水対策など、そういったものを複合して総合防除といいます。

それと化学肥料、化学農薬不使用栽培による、様々な生物を地域で育み、生物多様性保全に貢献をする営農活動、取組をした団体に、こちらのほうの予算では全市内8団体宛てに交付するものでございます。

続きまして、概要版の15ページの鳥獣被害対策の現状でございます。

こちらにつきましては、一応令和4年度の捕獲実績が128頭、令和5年150頭、令和6年148頭、令和7年度につきましては、2月末現在で209頭となっております。3月で大体20頭かなということを見込んでございますけれども、相当、昨年度よりも捕獲数が増えているのが実情でございます。また、毎日のように目撃情報の電話もかかってございます。加えまして、交通事故等で道路で死骸になっているといったものの件数も、昨年よりも多くなっているところでございます。

以上でございます。

○議長（中山五男） 8番滝口貴史議員。

○8番（滝口貴史） 一通り答弁いただきました。再質問させていただきます。

庁舎管理費の多目的トイレ、北側のところは、北玄関の入り口の両側のトイレということでよろしいでしょうか。確認です。お願いいたします。女子のほうですね、了解です。

次に観光振興費の市民秋まつりへの補助金、今年度と同じ規模のイベントをすると、同額の同じぐらい650万円程度かかるという形ですか。この市民秋まつりは令和8年度、まだ全然決まっていないという話だったと思うのですけれども、今年度は11月23日、勤労感謝の日

にやられたと思うのですが、また、同じような日でよろしいのか、確認させていただきます。お願いいたします。

シティープロモーション事業費、先ほど福田議員が午前中にやって答弁がありましたが、イメージキャラクターのここなす姫、やまどん、からすまるのグッズを製作するという話でございました。

先ほど、課長ほかとお話をしたところ、本当に、私も娘が高校生なので、今、高校生には縫いぐるみがすごく流行っています。これ、何の縫いぐるみか分からないような縫いぐるみが流行っているので、今、私どもの、ここ那須烏山の3体も認知度は今のところないですが、いつ爆発的になるか分からないので、ぜひとも進めていただきたいと思います。意気込みをお願いいたします。

それと、住宅リフォーム助成金、前々からの事業でございますが、これを質問したのは、その後ろの話がありまして、これは市内の業者という形で限定されていると思うのです。これは市内の業者ということで限定されているのですが、その次のまちづくり課で答弁いただいたエネルギー対策事業費、個人向け省エネ家電購入費用の助成については、エアコン、冷蔵庫、テレビ、照明器具という形でいただきましたが、これは市内の業者に限らないということで、理解でよろしいのでしょうか。

次、業務系・情報系システムの管理運営費、生成AIの導入についてですが、各種AIを試すということを言われました。これはどのぐらいのAIを試すということでしょうか。

また、職員の研修であったり、市でガイドラインはどのようなになっているか、質問いたします。

最後に、組織改編について再質問させていただきます。都市整備課、建設課等々を新しい改編、名前が変わったのがまず一つで、これは両方とも南那須庁舎に置かれるという確認と、あと、再度、都市整備課は市長3期目の重点公約であって、その3つをこちらの都市計画、防集移転、新庁舎整備を都市整備課に新設して一元化してやっていくという理解でよろしいでしょうか。

それともう一つ、まちづくり課に今まで道の駅整備計画担当がありましたが、地域交通グループにありましたが、なぜ今度は暮らし推進グループに移動したかお願いいたします。

以上です。

○議長（中山五男） 平山総務課長。

○総務課長（平山茂樹） まず、多目的トイレの箇所は大丈夫、よろしいですか。（「はい、了解です」の声あり）分かりました。

それでは、組織再編の関係になります。都市整備課につきましては、南那須庁舎に新設する

ということで、新年度のスタートに向けて看板ですとか、電話番号の設置ですとか、そういったものの準備を既に進めているところでございます。

また、都市整備課に、それぞれ重点事業を集約しておりますが、一元的に課として取り組んでいくということで、そのような組織再編にさせていただいております。

また、道の駅整備計画担当、こちらにつきましては、もともとまちづくり課という課の中にはございましたが、所管は地域交通グループになってございました。情報発信ですとかシティープロモーション、そういったところと密接に連携をしながら進めていくという必要性があることから、なすから暮らし推進グループのほうに移替えをしたということになります。

以上となります。

○議長（中山五男） 大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫） シティープロモーション事業費につきまして、意気込みとすることをいただきました。

先ほども答弁いたしましたけれども、今、女子高生が通学の際に持っているかばんに、あれほどまで縫いぐるみがたくさんついているというのは、正直びっくりしました。やはり流行に乗るというのも施策の一つにもなっていくのかというふうには、個人的には考えております。

また先日、県庁に出張に行った際に、購買のところでとちまる君の縫いぐるみを1個1,500円で販売していました。そういったものを見ると、やはりこういったキャラクターの縫いぐるみを作るというのも一つのプロモーションにもなるのかというふうに思いますので、精いっぱい努力して、グッズの製作に努めてまいりたいと思います。

それともう1点、エネルギー対策事業費につきまして、市内の家電店以外でもオーケーかということですが、こちらは市外のものでも大丈夫ですので、幅広いところでの購入をお願いしたいと思います。

以上でございます。

○議長（中山五男） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 生成A I システムについてお答えします。

どれぐらいの生成A I システムを使うのかというところで、実は令和7年度中に試行運用しております。こちらはL o G o A I と e x a B a s e という2つのシステムを試行運用しました。

その中で職員向けには、全職員向けに活用方法の周知を図ったところで、改めて研修は行っていないませんが、本格導入をした際には、全職員向けに研修はしっかり行っていきたいと考えております。

今後についても、生成A I システムはたくさんありますので、あと2つぐらい試行運用した

上で本格導入を考えております。その際、ガイドライン関係については、試行運用した際に、令和7年1月20日に第1版としてガイドラインを作成しておりますので、それは本格導入に向けて、また、徐々に整備していこうと考えております。

以上になります。

○議長（中山五男） 星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） 市民秋まつりの日程について御質問いただいております。

こちらにつきましては、秋にはなりますけれども、まだ詳細な日程は、今後に決定させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（中山五男） 8番滝口貴史議員。

○8番（滝口貴史） 答弁いただきました。

今の秋まつりについては、秋ということですので、今年度と同じ頃ではないのかと正直思っておりますけれども、その中で、実行委員会はどのようなメンバーが、新しく決めると言ったので、どのようなメンバーを考えているか教えてください。

イメージキャラクターについては、私も応援していますので、頑張ってやってください。私も一般質問で、イメージキャラクターについては、今までも数回、何度もやっています。できれば、本体の3体もそろそろ更新時期ではないかと、正直に思っております。とちまるくんとか、宇都宮市のキャラクター、ミヤリーちゃんというのですけれども、全部空調がついています。うちのは空調がついていないので、入る方が本当にかわいそうだと思いますので、ぜひともその予算も、縫いぐるみができた暁には、お披露目には新しいものでできるように、できたら補正でやっていただければと思います。

AIについては、まだまだこれからですので、しっかりと職員の研修等々もやっていただきまして、ガイドラインができて、既に始まっているというのはすばらしいことだと思ひまして、よろしくお願いいたします。

エネルギー、市外で買ってもらうというのは、通信販売でも大丈夫だという確認だけお願いいたします。

以上でお願いします。

○議長（中山五男） 星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） 実行委員会の構成についてですけれども、こちらにつきましても今後になりますので、御理解いただきたいと思います。

よろしくいたします。

○議長（中山五男） 大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫） 通信販売のほうでも可能でございますので、御利用いただ

ければと思います。

○議長（中山五男） 了解しました。

○8番（滝口貴史） 以上です。ありがとうございました。

○議長（中山五男） ここで暫時休憩いたします。

再開を14時5分といたします。

休憩 午後 1時53分

再開 午後 2時05分

○議長（中山五男） 休憩前に引き続き再開いたします。

9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） 監査委員のために、一般的な質問は控えさせていただきますけれども、監査委員として皆さんにお願いというか、前向きな意見をお伝えしたいので、手を挙げました。

やっぱり、今回は予算審議です。予算審議なので、当然ながら、投資対効果は当然について回らなければおかしいと思うのです。やっぱり皆さんの回答を聞いていて、なかなかそういう回答が感じられないということなのでお願いします。やっぱり、これだけお金を使って、このレベルにしたいという思いが伝わってこなければいけないのです。

だから、この投資対効果の効果は市民目線で、なるほどもっともだなど市民の方が理解できるような、そういう内容で考えて効果を出してほしいのです。一番いいのは、これだけのお金を使って、絶対にこれを何としてもやり遂げたいと、こういう迫力ある答弁をぜひお願いしたいのですけれども、何か当然、程遠いので、この辺はこれは市長と副市長に一言コメントをお願いします。

○議長（中山五男） 答弁はいいんじゃないですか。

○9番（小堀道和） そうですか、では答弁はいいです。よろしくお願いします。

以上です。

○議長（中山五男） 10番相馬正典議員。

○10番（相馬正典） 10番の相馬です。

なかなか前向きにこういうことをしたいと言われても、予算がもう組んであるので、この説明を我々は聞くのでなかなか難しいのかなと思うのですけれども、まず、概要版の4ページのこども医療費助成費から伺いたいと思います。

こども医療費助成費については、市としてはゼロ歳から高校まで医療費を補助しようという話で始まりましたが、実際には県などでは高校までいってなくて、中学生までだということなので、高校生に対する部分についての実質の市の持ち出しについてお伺いしたいと思います。

のと、今後の助成費、この助成費をどこまで国県が拡大してくるのか。そういった、ある程度見通しみたいなのがあれば教えていただきたいと思います。

同じく4ページの学校給食センターの運営費、同じような質問になりますけれども、これも市は中学生まで給食費を補助しようということですが、今、国県では小学校はやるけれども、中学校については、まだまだ未定な部分があるということなので、本市のやはり中学生の部分の実質の持ち出しについて、どの程度の持ち出しになるのか。また、同じように国県の動向等が、今後の見通しが何かあれば教えていただきたいと思います。

それから、学校体育館の空調機器については、ほかの議員が質問していましたので、大体分かります。ただ、今後どのような目標を持って、完了の目標値、何年までにやりたいとか、そういったものがあれば、市長に聞いてみたいと思います。それで、今はまだ実施段階ではないということなので、その辺の理由もあれば、お伺いできればと思います。

7ページ。B&G海洋センターの管理費の中に、これ非常に老朽化したプールになりました。今後の計画や見通しについて、あれば教えていただきたいと思います。

7ページの文化財保護費、文化財調査費です。烏山城跡の事業計画なのですが、今回、見当たらないので、現在の状況と今後、次年度はどのような計画があるのか教えてください。

14ページです。各学校のスクールバス運行費、前から申し上げているのですが、車両の大きさや経路の見直しについて検討はされるのか、しないのか。その辺もお伺いします。

16ページです。一般会計の内訳、歳入ですけれども、地方交付税、国庫支出金が大きく増加しています。前年度と比べて6億円増えております。何か理由があれば、教えてください。

同じく17ページ、一般会計の内訳です。これは歳出のほうです。総務費が前年度に比べて1億6,300万円ほど増加しておりますけれども、内訳について伺います。

18ページです。一般会計の内訳、同じく歳出。性質別ということで補助費があるのですが、補助費が2億2,700万円ほど増えているのです。その内容について伺います。

以上です。

○議長（中山五男） まず、市長からの答弁になるのではないですか。

川俣市長。

○市長（川俣純子） 御質問いただきました体育館の空調についてですが、体育館の新旧が大分違って 있습니다。新しくできたばかりのところと、古いところとがありますので、今回、いろいろな意味で、来年度計画させていただき、順次直していきたいと思っております。

また、本格的に空調を入れるとなると、建て直さなければいけない、そういうところも出てきますし、統合の予定も考えながら、それを進めていきたいと思っておりますので、もう少しお時間をいただきながら、進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

近隣の市町はほとんど空調が入ってきていますので、我が市もそれに対応が遅れることないように進めていきたいと思いますので、御協力のほどお願いいたします。

○議長（中山五男） 水上こども課長。

○こども課長（水上和明） それでは、私からは概要版4ページ、こども医療費助成費で市の負担額及び今後の見通しについてお答えいたします。

こども医療費助成制度は、子供が病気やけがで医療機関を受診した際に、医療費の自己負担分を自治体が助成する制度になります。まず、市の負担額でございますが、事業費7,370万2,000円のうち、4,931万4,000円になります。

次に、今後の助成費補助の見通しでございますが、こども家庭庁主導の少子化対策の一環といたしまして、自治体の財政負担を軽減しつつ、全国どこでも平等な支援を受けられる制度設計の検討が急がれております。

そういったため、国や県におきまして、高校生世代までの無償化が進む可能性がございます。また、少子化の影響により、年々該当者が減少しておりますので、市の助成額は減少していくことが予想されます。

以上です。

○議長（中山五男） 齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文） それでは、私から2点、お答えいたします。

まず、学校給食センターの給食費の無償化につきましては、令和8年度より、小学校で児童1人当たり月額5,200円を基準に国からの支援がされます。中学校につきましては、栃木県独自の取組としまして、生徒1人当たり5,900円、こちらを基準に2分の1が支援されることになっております。

国においては中学校につきましては、できる限り速やかにというようなことでしか、今のところ目標とされておりませんので、現在年次は示されておりません。市としましても、令和8年度の予算額では小学校の給食費が5,700円、中学校が6,900円程度を見込んでおります。そのため、差額分につきましては市の持ち出しという形になりますが、現在は国の重点支援交付金の活用を予定しておりまして、小学校の一般財源と言われるのが476万3,000円、中学校が2,198万5,000円、合計で2,674万8,000円が持ち出し、ただし、今回は重点交付金を使っていくということになっております。

給食費の無償化につきましては、財源の確保が重要になってくると思います。今後も、市長会、それから教育長会議を通じて、地域によって格差が出ないように、引き続き財源確保されるよう要望してまいりたいと考えております。

それから、スクールバスの運行費につきましては、令和7年度のスクールバスの状況につき

ましては、市有バスが11台、民間委託バスが18台、合計29台になっております。

車両につきましては、中型バス10台、マイクロバス16台、ワゴン車が3台となっております。

経路につきましては、37コースを運行しておりまして、スクールバスの利用人数は、当初ではありますが703人、約51.2%の児童生徒が利用しているという状況になっております。

スクールバスの運行につきましては、令和6年度に車両の大きさや運行経路の見直しを行いまして、民間バスの委託は令和7年度から3か年の長期契約を、今、結んでいるところであります。今までは5年間の契約としていましたが、児童生徒の減少なども考慮いたしまして、3年間としております。

そのため、今度は令和10年度以降の運行計画を進めていかなければなりませんので、令和8年度にはまた、見直しをしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

以上です。

○議長（中山五男） 塩野目生涯学習課長。

○生涯学習課長（塩野目豊一） それでは、プールの今後の計画についてお答えいたします。

南那須B&G海洋センターについては、昭和61年度に竣工し、平成23年度に大規模改修を行っていますが、施設の特性から、プール底面のゆがみや建物外装や、プール周りの塗装の剥離など、ダメージを受けている部分が増えておりまして、また、洪水浸水想定区域などに立地しているため移転の必要性があると考えていますが、移転候補地のめどが立つまでの間は、B&G財団の助成事業を活用しながら浸水対策を行いつつ、機能保全に努め、維持管理をしてまいりたいと考えております。

なお、移転後の再整備に当たっては、生涯学習施設個別施設計画に基づきまして、ほかの施設と統合して、防災機能を備えたスポーツ複合施設としての整備を検討しております。

続きまして、烏山城跡の事業計画についてお答えいたします。烏山城跡の事業計画については、史跡烏山城跡保存活用計画に基づき実施しているところでございます。なお、計画期間は、令和7年度から令和20年度までの14年間を基本としております。

まず、保存と整備に係る計画におきましては、令和7年度から令和9年度の3年間で、三の丸、七曲口の遺構等の確認をするため、現在発掘調査を行っております。また、同時進行で令和11年度までに、整備基本構想及び施設配置や整備の具体的方法を示す整備基本計画の策定を行います。

さらに、令和12年度から令和20年度までに、復元やデザイン等を示した整備基本計画実施設計、整備工事設計を行います。

なお、活用においては、本物の山城を体験できるような講演会や現地説明会を随時開催していく予定でございます。

以上です。

○議長（中山五男） 小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 私からは、概要版16ページ、一般会計の内訳、17ページ、一般会計の内訳歳出、18ページ、一般会計の内訳、歳出の性質別についてお答えします。

まず、概要版16ページ、地方交付税、国庫支出金が大きく増加している内訳について御説明いたします。

初めに、地方交付税につきましては、45億円のうち40億円が普通交付税でございます。普通交付税につきましては、令和4年から令和6年の3か年平均が約41億5,000万円であったことから、前年度予算38億円を増額しまして、40億円としたところでございます。残りの9億円は特別地方交付税でございます。

特別地方交付税につきましても増加傾向にあることから、前年度予算額4億8,000万円を増額し、5億円としたところでございます。

次に、国庫支出金の増額につきましては、障害者介護給付負担金の増加、約3,800万円。物価高騰対応交付金の増加、こちらが1億4,500万円の増加。防災集団移転の補助金の増加、こちらが4,200万円の増加、これらが主な要因となっております。

次に、17ページ、一般会計の内訳歳出について、総務費、比較1億6,302万5,000円増の内訳について御説明します。

こちらについても総務費、大きい中で、主な増額の要因を申し上げます。新庁舎整備費、こちらがプラス6,200万円。ふるさと応援寄附金事業費、こちらがプラス2,522万6,000円。ふるさと応援基金積立金、プラス5,000万円。一般職員人件費プラス3,949万2,000円。これらが主な要因となっております。

最後に、概要版18ページ、一般会計の内訳、歳出の性質別についてお答えいたします。

こちらの補助費の内容について御説明します。こちらの補助費におきましても、たくさん補助事業があるわけなのですが、増額となった主な要因を申し上げます。

まず、一部事務組合への負担金がプラス9,182万8,000円。物価高騰の交付金を活用した事業の補助費としまして、水道基本料減額に係る水道事業会計への繰出金6,988万円。農林水産業事業者への助成3,000万円。省エネ家電購入費の助成1,000万円。那須烏山商工会が実施するプレミアム付商品券発行事業への補助金5,100万円などが、主な要因となっております。

以上でございます。

○議長（中山五男） 10番相馬正典議員。

○10番（相馬正典） 一通り答弁いただきまして、ありがとうございます。

まず、6ページの学校体育館の空調設備につきましては、やはり暑さ対策ということで一刻も早く設置に向けて、早めに手を打っていただきたいというふうに思います。

それからB&Gのプールにつきましては、複合施設も含めて積極的に進めていくということです。ですので、これもできるだけ早く計画を前へ進めていただきたいというふうに思います。これは2つ要望します。

それからもう一つ、14ページのスクールバスなのですが、今後は3年間で見直しをするということです。令和8年度には一度見直しをかけるということで理解していいと思うのですが、やはり児童数の減少などによって、バスの台数や経路など、いろいろ大きく変わってくると思いますので、その辺はしっかり取り組んでいただきたいと思います。

それから、一般会計の、それで、17ページの一般会計の歳出の中に、今説明がありました庁舎整備に対する6,200万円と計上しておりますけれども、予算書の中に、一生懸命見たのですけれども見当たらないのですけれども、これはどこに載っていますか。

○議長（中山五男） 再質問は、あと何かありますか。

○10番（相馬正典） これで大丈夫です。では見つかったら教えてください。

以上です。

○議長（中山五男） 11番田島信二議員。

○11番（田島信二） 随分もう前に何度も出ましたけれども、全部予算書からです。

71ページ、地籍調査事業費3,877万6,000円の内訳です。

79ページ、ふれあいの道づくり事業費、1,000万円、道路整備費、2億8,820万8,000円。

81ページ、大桶運動公園管理費、1,051万2,000円。

116ページ、イノシシ捕獲等促進強化事業費補助金、110万円。

116ページ那須烏山市カワウ等捕獲活動支援事業補助金14万円。

以上です。

○議長（中山五男） 菊池都市建設課長。

○都市建設課長（菊池章夫） それでは私から、まず予算書71ページの地籍調査事業についてお答えします。

地籍調査とは、地籍を明確化し行政が実施する各種事業の計画等のほか、一般の土地利用、土地取得等にも活用される土地に関する正確な基礎資料作成のため、国土調査法に基づく地籍調査を実施していくものでございます。

地籍調査事業におきましては、3年をサイクルとして実施しておるところでございます。

1年目は地権者の現地立会いの下、一筆調査を行い測量の実施。2年目は測量成果を基に地図を作成し、閲覧してもらう。3年目は国の承認を受け、知事からの認証を受け、法務局へ送付という流れで進められております。

令和8年度におきましては、中央6地区。こちらは烏山高校から南へ、烏山庁舎付近の西側の山ですかと、烏山庁舎入り口から神長トンネル入り口までの県道宇都宮那須烏山線の両側、そちらの2年目の工程と、あと中央の7地区。こちらは神長トンネルの上の山でございます。こちらの1年目工程の委託料でございまして、2,798万3,000円。その他、地籍事業に係る経費を含めまして3,877万6,000円となります。

こちらは土地に関する正確な基礎資料作成のために、地籍調査を推進していくものでございます。御理解ください。

続きまして、79ページ、ふれあいの道づくり事業費についてお答えします。

こちらのふれあい道づくり事業とは、地域内に密着しています生活道路、市道認定外道路、その他の道路における地域の住民の協力による、地域の実情に見合った生活道路の整備と、その愛護活動に対し資材等を支給することにより、市と市民との協働で道づくりを行い、地域の生活道路の整備に係る要望に対応するということを目的としてございます。

現在、継続で実施中の地区は6自治会です。向田の西二、大桶上、大桶下、三箇上、宇井、曲畑の6か所の事業費で1,000万円となつてございます。そのほか経費を入れまして、こちらの金額になっているところでございます。

続きまして、79ページの道路整備費でございます。

こちらは令和8年度につきましては、社会資本整備総合交付金の事業で6路線を実施いたします。大金東原線、富士見台工業団地線、谷浅見平野線、大桶白久線、下境の浄土入山線、関下精神場線、以上6路線に係る経費で2億8,820万8,000円となります。

以上でございます。

○議長（中山五男） 小口農政課長。

○農政課長（小口正一） 私からは、117ページ、イノシシ捕獲等促進強化事業費補助でございまして。こちらは分かりやすく言いますと、イノシシの被害防止用の電気柵の補助でございまして。

まず、補助の中身といたしましては、個人購入の場合ですと、購入費の2分の1以内で10万円が限度となります。共同購入、こちらは2人とか3人とかということで共同購入した際には、納入費の十分の6以内で、上限とすれば2人で買えば20万円、3人で買えば30万円というふうに、ニーズに合わせて上限が増えていきます。

続きまして、カワウのほうです。カワウ等の捕獲活動支援事業費補助金でございます。

こちらの14万円でございますけれども、カワウを捕獲しますと、漁協からまず2,000円が交付されます。あと市より1,000円上乗せをします。なので、捕獲した方は3,000円もらえることになります。その1,000円の上乗せにつきましては、漁協に市から振込をしまして、合算の上、本人宛てにいくというようなことでございます。

もう一つ、外来魚、ブラックバスとか、そういった外来魚を捕獲、1キログラム当たり、漁協からだと300円。市でも300円を上乗せして、外来魚の1キログラム当たり600円、こちらも漁協へうちのほうから補助を出して、漁協からいただくような形になってございます。

ちなみに漁業の原資は、国補助100%が充てられているということでございます。

以上でございます。

○議長（中山五男） 塩野目生涯学習課長。

○生涯学習課長（塩野目豊一） 大桶運動公園の管理費については、総予算の大半が施設の管理委託料で、芝の管理や管理棟内の清掃費用となっております。

また、除草剤等の消耗品費や光熱水費、修繕料、浄化槽のくみ取り手数料などを計上しております。

以上です。

○11番（田島信二） 了解。

○議長（中山五男） よろしいですか。

○11番（田島信二） はい。

○議長（中山五男） 先ほどの相馬議員の質疑に関しまして、追加答弁がございます。

小原沢総合政策課長。

○総合政策課長（小原沢一幸） 新庁舎整備費は予算書上どこにあるかということで、43ページ、財産管理費の中に入っておりますので、お願いします。

○議長（中山五男） 12番渋谷由放議員。

○12番（渋谷由放） 質問するものがなくなりました。

一般会計の87ページ、子ども見守り隊事業費、33万9,000円。現在何人の隊員が活動して、その謝金かもしれませんが、当初から増えているのか、減っているのか、その辺も含めてお願いできればと思います。

87ページと89ページに、まず87ページには、児童健康診断費383万6,000円というのがございます。

89ページには、生徒健康診断費234万5,000円ということで、今どのような項目、例えば体重とか身長とか、そういうのを行っているのか、その辺について2点、お願いしたい

と思います。

○議長（中山五男） 齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文） それでは、初めに子ども見守り隊事業費についてお答えいたします。

隊員であります、こちらは学校周辺や通学路のパトロールを行う指導員、うちのほうではスクールガードリーダーと言いますが、こちらが各小学校区を1名で合計5名、それから登下校の見守りをボランティア活動で行っていただいております隊員が現在41名います。

支出につきましては、先ほど渋井議員がおっしゃったとおりスクールガードリーダーの報償金が25万円。それから、消耗品としまして3万円。それから、各隊員の保険料、こちらが5万9,000円で合計33万9,000円です。

こちらの事業費につきましては、今まで教育委員会の事務局費の中に入っていたのですが、それをこちらで事業費として計上したもので、金額についてはほぼ変わっておりません。

それから、児童生徒健康診断。こちらにつきましては、学校保健安全法の施行規則に基づきまして、身長、体重、栄養状態、聴力、視力、内科、歯科など大きく分けて12項目あります。また、任意としまして小児生活習慣病の予防検査、それから色覚検査を実施しております。

金額につきましては、一番大きいのは学校医への報酬、こちらは非常勤特別職になっておりますので、そちらに基づいて支払いをしております。

それから、心臓検診、腎臓検診、小児科病が、こちらが栃木県保健衛生事業団のほうへの委託料として支払っております。

以上です。

○議長（中山五男） 12番渋井由放議員。

○12番（渋井由放） スクールガードリーダーの謝金というのがあって、そのほかに、41名のボランティアの方がいると。前に、ジャンパーか何かそのようなものだけは作るといふようなことだったかと思うのですが、皆さん一生懸命やっただけでありますので、無料というか、もう、もちろん無料でやってくれているのはいいのですが、何か少し考えるべきではないのかなと思っております。そんなところを要望したいと思います。

あとは健康診断なのですが、何か施行規則のようなもので決まっております、そのときに、今、表現は何と言うのだから分からないですけど、丸いぼつぼつが入っていて、文字なんかが見えるような、そういう検査、これが今は省かれてしまったというか、なくなってしまって、いざ就職しようとしたときに検査したところ、そういう結果があるから駄目だということで進路変更せざるを得なかったというようなことが大きな問題になったということです。

今、説明を受けたのだと思うのですが、そういうことは任意けれどもやっているのですよ

ねと、そういうのを再度確認をしたいと思うのですが。

○議長（中山五男） 齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文） 子ども見守り隊事業につきましては、年1回、ボランティアの方といろいろ協議しておりまして、そういったものの要望があったときには対応できるようにしていきたいというふうに考えております。

色覚検査につきましては、本市は任意であります、小学校5年生を対象に実施しております。任意ではあります。ほぼ全員、若干受けていない方もいらっしゃるのですが、おおむね大体皆さん受けていらっしゃいますので、そちらのほうで対応しております。

以上です。

○議長（中山五男） 12番 渋谷由放議員。

○12番（渋谷由放） 本当の気持ち、みんなボランティアでいいよ、子供たちのためにとやってくれるのはいいので、ありがたい話なのだけれども、こちらもしっかり、その気持ちで応えるというか、そんなことがあってもいいのかなということと、任意の場合でも、今言った、将来にわたって、進路を決めるときに大きな問題が発生したという事実があるからということ。をきちんと伝えて、全員受けてもらえるように伝達してもらうように要望しまして、終わります。

○議長（中山五男） 15番 高田悦男議員。

○15番（高田悦男） それでは、令和8年度当初予算総括質疑を行います。

質疑でありますから、自分の意見は言わないで質疑をいたします。

6ページ、教育情報ネットワーク整備事業費、事業内容について説明をお願いいたします。

同じく6ページ、中学校管理費、校内教育支援センターの設置について説明を求めます。

続いて7ページ、運動公園の維持管理、維持補修について説明を求めます。

8ページ、農業総務費、稼ぐ農業創出実行委員会の設置については、同僚議員からも何度か答弁がありましたが、実行委員の数は示してもらったのですが、どのようにして選出するのかお尋ねいたします。

9ページ、団体営土地改良事業費、下江川地区揚水機修繕補助金について、説明を求めます。

11ページ、道路維持管理費、路肩の除草等業務について、この詳細も説明を求めたいと思います。

11ページの道路維持管理費、支障木伐採についてですが、私も、議場で何回も一般質問で要望してきたのですが、やっと予算化されました。金額は500万円ですから、延べ何キロメートルやるのかなと思って期待しているのです。詳細について説明を求めます。

山あげ会館街路灯LED改修、街路灯の灯数は先ほど同僚議員に説明がありましたから、効

果についてどう見ているのか。

11ページ、浄化槽設置事業費、単独浄化槽から合併浄化槽への転換費用の助成について。

以上9点について説明を求めます。

○議長（中山五男） 齋藤学校教育課長。

○学校教育課長（齋藤浩文） それでは、私から2点について御説明いたします。

まず、教育情報ネットワーク事業につきましては、事業費としまして4,105万円を計上しております。

こちらにつきましては、学校印刷機のカウンター料に関する経費としまして、331万2,000円、インターネットへの接続に関する通信費等で199万6,000円。

それから、学校教育ネットワークの保守業務委託料や、学校ICTの支援業務委託料につきまして、802万3,000円。

それから、学習や校務支援システムの使用料につきまして、104万2,000円。

あと、サーバー、それから複合機のリース料、こちらを合わせまして、3,172万7,000円となっております。

続きまして、中学校の管理費、校内支援センター、こちらにつきましては先ほども御説明をいたしました。支援員を1名増額する分であります。支援員が、予算では2名分、今度はこちらは取っておりますので、こちらにつきましては756万円を計上しております。その結果、鳥山中学校に1名、南那須中学校に1名配置する予定としております。

以上です。

○議長（中山五男） 塩野目生涯学習課長。

○生涯学習課長（塩野目豊一） 運動公園の維持管理についてです。

こちらは主に芝の管理や施設清掃などの施設管理委託料が大半を占めております。また、老朽化が著しい施設もございますので、修繕に際しても小まめなメンテナンスを欠かすことができません。

なお、新しい取組といたしましては、緑地運動公園にアーチェリー競技ができるようにネットを張るような形の整備をする計画でおりますので、令和8年度からは緑地運動公園のほうで、アーチェリーの大会等を開催することができます。

以上です。

○議長（中山五男） 小口農政課長。

○農政課長（小口正一） それでは私から、農業総務費のほうでの実行委員会の人数は先ほどお答えしました。その選出方法でございます。選出方法につきましては、10名中の中で2名ほど学識経験者を予定してございます。その学識経験者より御意見を拝聴いたしまして、

残りの8名程度の選出を考えたいと思っています。

続きまして、団体営土地改良区でございます。

下江川地区の揚水機の修繕でございますけれども、ほぼほぼもう、さくら市との境の三箇地内の揚水機場に当たりますけれども、そちらの揚水機、あそこに2基ありまして、1基は令和7年度中に直してございます。その際には、仕切り弁と逆止弁の更新を行ってございます。もう1基については、令和8年度の当初予算のほうで、既に分解して、どこに不具合が悪いのかというのが分かってございますので、その部品の交換ということで、今回、市分の286万円の計上をしているところでございます。

以上でございます。

○議長（中山五男） 菊池都市建設課長。

○都市建設課長（菊池章夫） 私からは概要書11ページの道路維持管理費、こちらの路肩の除草等と支障木は関連しますので、一緒にお答えさせていただきます。

こちらは先ほど滝口議員にも御説明いたしました。今年度は、今まで9月補正、12月補正でいただいていたものを通年で実施することといたしました。路肩の除草や支障木は繁茂の激しいところを特に重点的に実施いたしまして、また、市民等から要望が多い箇所について実施をいたし、安全安心な通行の確保をしていきたいと考えております。

以上です。

○議長（中山五男） 星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） 山あげ会館施設整備費街路灯のLED改修に伴う効果でございますけれども、まず、今回改修することによりまして、かなり街路灯が古くなっているものもございました。そちらを支柱から更新したりしまして、安全に明るい環境を維持するところが一つございます。

それともう一つが、やはりLED化することで、電気使用量の削減が見込まれます。LED化しますと、おおむね70%削減できるということが言われておりますので、こちらに伴いまして、電気使用料、また、それに伴いまして電気料金、環境負荷への低減が図れるものと考えてございます。

以上です。

○議長（中山五男） 石嶋上下水道課長。

○上下水道課長（石嶋賢一） 私から浄化槽設置整備事業にかかる、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換時の宅内配管工事費用の助成という部分について御説明させていただきます。

宅内配管工事費用の助成、金額的に予算額で495万円についてでございますが、内訳とい

たしまして、1件当たり33万円の上限金額に対して年間の予算15件を見込んでおります。

なお、ここで言っております宅内配管工事とは、合併処理浄化槽への流入する管、または流入管の途中にある点検用のますを設ける工事を言います。

今回の単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進を図りまして、公共用水域の水質保全に努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（中山五男） 15番高田悦男議員。

○15番（高田悦男） ただいまの答弁で、大方了解としました。

教育情報ネットワークの整備事業費については、了解しました。

中学校の管理費、校内支援センターの設置についてですが、これは教室の改修を伴わない利用の方法ですか。お答えをお願いします。

運動公園の維持管理、維持補修ですが、故障あるいは壊れているところを把握しているかどうか、それをお聞きしたいのです。

次の、稼ぐ農業創出実行委員会の設置についてであります。委員の公募は考えていますか。

次の9ページ、団体営土地改良事業費は、これは水害で壊れたか、あるいは老朽劣化か、その辺の見解をお願いいたします。

道路維持管理費については、路肩の除草等、1,000万円。支障木の伐採が500万円。これはどちらの委託作業になるわけでしょうか。直営なのか委託か、または委託になる場合は、どういう方法でやるのか、お願いいたします。

続いて、11ページの山あげ会館LEDは了解といたします。

続いて11ページの浄化槽設置事業費については、了解といたします。

以上です。

○議長（中山五男） 齋藤学校教育課長。

課長、答弁の際、原稿を持ってもう少し前を向いて答弁してくれますか。少し聞きづらいところがあるものですから、申し訳ない、よろしくお願いします。

○学校教育課長（齋藤浩文） それでは、校内支援センターの設置についてお答えいたします。

こちらにつきましては、先ほども申しましたとおり支援員1名の金額でありますので、施設の整備というのですか、そちらは予定しておりません。

校内支援センターは既に令和7年度から設置しておりまして、相談室、空き教室等を利用しておりますので、施設整備等の経費はありません。

以上です。

○議長（中山五男） 塩野目生涯学習課長。

○生涯学習課長（塩野目豊一） 修繕箇所の把握については、施設グループに作業員を2名配置しております。その作業員が、小まめに確認作業をしておりますので、随時、故障箇所などがあった場合は修繕するような形を取っております。

○議長（中山五男） 小口農政課長。

○農政課長（小口正一） 委員会で公募は考えているかという点につきましては、私的には入れたほうがいいのかなどは思っていますが、学識経験者宛てに進言させていただければと思っております。

揚水機場につきましては、あそこの土地改良区が設立というか、揚水機は建った当時のポンプでして、かなり壊れるというか古い、老朽化が原因でございます。

以上でございます。

○議長（中山五男） 菊池都市建設課長。

○都市建設課長（菊池章夫） それでは、路肩の除草及び支障木、こちらは業者委託を考慮しております。発注方法としましては、入札を考慮している。特に支障木なんかは高所作業車を持っているところでないとなかなかできない、直営ではできないところもありますので、業者委託と考えております。

以上です。

○議長（中山五男） 15番高田悦男議員。

○15番（高田悦男） 3回目ですので、慎重に。

小学校管理費については、了解いたします。

運動公園の維持管理ですが、緑地運動公園のバックネットの異常というか、かなりゆがんでいるのですね。それは把握していますか。できたら、張り替えが必要かと私は思っています。これは意見として。

11ページの道路維持管理費については、継続性が求められると思うのです。今後の予定はどのように考えていますか。

以上です。

○議長（中山五男） 菊池都市建設課長。

○都市建設課長（菊池章夫） 議員がおっしゃるように、特に除草は継続性が求められると思います。ですから、繁茂の激しい箇所は引き続き予算化してやっていきたいと考えております。

以上です。

○議長（中山五男） 全部よろしいですか。

○15番（高田悦男） 3回やったからいいでしょう。

○議長（中山五男） 分かりました。

ここで暫時休憩をいたします。

15時5分に再開をいたしますので、よろしくお願いします。

休憩 午後 2時56分

再開 午後 3時05分

○議長（中山五男） 休憩前に引き続き再開いたします。

16番平塚英教議員。

○16番（平塚英教） 令和8年度の本市当初予算の総括質疑、私が最後ということでございまして、皆さんがいろいろ質問しました。その中で、私もいっぱい出しておいたのですが、ほぼ内容についてはお答えいただけたのですが、若干、答えのないものもあるのでそれは聞きますけれども、まず、8ページ、農業総務費の中で、ただいま同僚議員からもありましたが、稼ぐ農業創出実行委員会の設置。

さらに企業立地促進事業費ということで、3,010万円と。この中には産業団地適地調査業務委託というのが330万円計上されているのですけれども、中身については、先ほどからの質疑で分かったのですが、これは私の一般質問との関わりで、つくば・八溝縦貫・白河道路を十分意識して、その中に、適用できるか分からないけれども、そういうものを十分意識してこれを進めていくのだということを確認したいと思うのですが、それが1点です。

あとは9ページ、これは概要版です。定住促進対策事業費、その下の民間賃貸住宅家賃補助事業、そして定住促進住まいづくり事業費というものなのですが、これらは大体答弁で中身は分かったのですけれども、いずれにしても、要するに人口増に向けて、特に若い方にこのまちに定住していただけるような方策として進めていくのであろうと思われるのですけれども、この中身が、来た人だけにPRだけでは、なかなかこれは進まないのかというふうに思うのです。

そういう意味で、さらに、これを一般に理解していただいて、こういう事業があるんだなということを理解していただいて、ここに参加いただくというようなPRはどんなふうに考えていますでしょうか。

10ページ、災害対策費でございますけれども、新規としてハザードマップの更新、698万5,000円が計上されておりますが、更新のハザードマップはいつ完成して、いつ頃までに配布されるような内容になるのか。説明をお願いいたします。

11ページでございますが、都市計画総務費で、新規ということで、都市計画決定図書作成、

また烏山駅周辺雨水排水調査業務費が計上されております。さらには、庁舎整備の調査費も6,202万円で出されておりますが、これは2月10日の特別委員会の時に内容説明があつて、タブレットにこれが載ったのですけれども、うちへ帰って、よくあれをつらつら見たのですけれども、もし駅前の予定地、駐車場全体も含めて、工事用の幅ぐいを打ったときに、駅前がほとんど使えなくなつて、そしていわゆる公共交通のバス路線があそこで果たしてUターンしたり、出入りができるのかどうか、それが非常に心配なのです。そういうことだと、市の考え方としては今の合タク辺りを指すのかな。あそこが、いわゆる駅前広場みたくなるのですよね。そちらを先に改修して、公共交通はきちんと確保して、そうしてから庁舎整備のほうに当たるというような構想なのか、その辺が私は気になったものですから、もう一度確認しておきたいと思います。

15ページ、地域おこし協力隊事業費が計上されておりますが、令和8年度の地域おこし協力隊の活動内容はどんなことをされるでしょうか。

それで、私が質問項目を出しておいた半分以上が、皆さんの質問で大体分かってしまったので、全く恐縮ではございますが、さらに質問を一つ追加したいと思います。

概要版の15ページなのですけれども、商工振興資金貸付事業費というのがございまして、中小企業を振興基金貸付金の原資の貸付け、信用保証料の助成というのが1億8,938万2,000円載っているのです。要するに中小企業の方が中小企業振興資金を借りるための原資まで借りられて、そして、中小企業振興資金が借りられるというような理解でよろしいのかどうか。そして、その保証料の助成はどういう内容なのか。これは当然、質問を出しておりません、除いていたので、細かな資料はないと思うのですが、概略、どういう内容なのか答弁いただければ幸いです。

以上。

○議長（中山五男） 小口農政課長。

○農政課長（小口正一） ただいまの御質問にお答えいたします。

市長の公約にもございますように、この後、商工観光課長の回答がある点、プラスアルファ道の駅の整備につきましても、つくば・八溝縦貫・白河道路の道路は重要な位置づけとなつてくることとして考えてございますので、当然見据えた上での事業というふうに認識してございます。

以上でございます。

○議長（中山五男） 星商工観光課長。

○商工観光課長（星 貴浩） 産業団地の適地調査につきましても、こちらは先ほどの農政課長答弁と同じでございまして、つくば・八溝縦貫・白河道路ですか、そちらの整備を見据え

たものとして認識しております。

それと、先ほどありました概略となりますが、中小企業の振興資金の貸付けにつきましては、こちらの原資を企業に貸すというのではなくて、制度融資、貸付金を運用するために金融機関にこちらを分配いたします、その原資になります。

それと、保証料につきましては、そういった中小企業の振興資金を使う場合には保証料がかかりますが、その保証料を市が補助しております、そういった中小企業の振興に役立てていくところでございますので、御理解いただきたいと思います。

以上です。

○議長（中山五男） 大鐘まちづくり課長。

○まちづくり課長（大鐘智夫） まちづくり課関係で3点御質問いただきましたので、お答えいたします。

まず、最初の2つ、定住促進対策事業費と民間賃貸住宅家賃補助事業費、こちらにつきましては、一般にも理解してもらうためにPRを考えているかという御質問だったのですが、現在、東京国際フォーラムで開催しております公益社団法人ふるさと回帰・移住交流推進機構が主催しております、ふるさと回帰フェア、それと、東京交通会館で開催の栃木県主催のオールとちぎ移住&しごとフェアに参加しております、移住希望者に対し本市の暮らしなどを紹介する相談窓口を設置しております。

こちらの2つの事業につきましては、市内の方に向けてより、どちらかといえば市外の方に向けて那須烏山市をPRするのが目的でございますので、そういったところでは出かけておまして、PRさせていただいております。

それともう一つ、概要版15ページの地域おこし協力隊事業費につきましては、令和8年度の活動内容ということですが、令和8年度につきましては、令和7年度採用隊員の人件費、活動費及び研修費となっております。

それと令和8年度新隊員の6か月分、10月からの採用を予定しておりますので、6か月分の人件費、活動費及び研修費を計上しております。

こちらにつきましては、新隊員につきましては、募集テーマについては現在検討中でございますので、各課局から案があればそうしたものを検討して進めてまいりたいと感じております。

以上でございます。

○議長（中山五男） 菊池都市建設課長。

○都市建設課長（菊池章夫） お答えします。

定住促進に関するPR、こちらは当然ホームページ、あとは商工会、あとは宅地建物取引業協会のほうにPRしていきまして、そういった取得する方がいたらこういった事業があるという

のは分かるような形になってございます。

次に、都市計画総務費の中で議員がおっしゃっていましたが、今後の心配というところでよろしいですか。そちらに関しては今の段階で庁舎の基本計画、あと烏山駅周辺の整備計画を実施しているところでございます。実際に工事等になった場合は、そういったところを加味しましたシミュレーションを当然しまして、公共交通等に迷惑をかけないようなやり方は当然示されると思いますので、その中できちんとした形でやっていくという考えでございます。

以上です。

○議長（中山五男） 平山総務課長。

○総務課長（平山茂樹） 私からハザードマップの更新についてお答えいたします。

令和8年度に更新を予定しておりますハザードマップにつきましては、3月までに作成しまして、4月中の配布を目標に作業を進めてまいります。

なお今回のハザードマップの更新につきましては、歳入に社会資本整備総合交付金、これを活用して2分の1ほど補助金をもらって行う、そのような事業となっております。

以上となります。

○16番（平塚英教） 質問を終わります。

○議長（中山五男） よろしいですか。

○16番（平塚英教） はい。

○議長（中山五男） それでは、ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（中山五男） 質疑がないようですので、議長において議事を進行し、これで質疑を打ち切ることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（中山五男） 異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

ただいま上程中の議案第1号から議案第8号までの令和8年度当初予算については、所管の常任委員会に付託したいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（中山五男） 異議なしと認めます。

よって、議案第1号から議案第8号までの令和8年度那須烏山市一般会計予算、令和8年度那須烏山市国民健康保険特別会計予算、令和8年度那須烏山市熊田診療所特別会計予算、令和8年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計予算、令和8年度那須烏山市介護保険特別会計予算、令和8年度那須烏山市境財産区特別会計予算、令和8年度那須烏山市水道事業会計予算、令和

８年度那須烏山市下水道事業会計予算、令和８年度当初予算８議案については、それぞれ所管の常任委員会に付託いたします。

○議長（中山五男） 以上で本日の日程は全部終了いたしました。

次の本会議は３月１３日金曜日、午前１０時に開きます。

本日はこれで散会いたします。大変御苦勞さまでした。

〔午後 ３時１９分散会〕